



令和6年度

川崎市岡本太郎美術館年報

ANNUAL REPORT 2024.4-2025.3

目次

I. 事業報告	1
1. 企画展	
「生命の交歓 岡本太郎の食」展	1
「芸術は、自由の実験室—夏のアートキャンプ」展	9
「岡本太郎に挑む 浅井裕介・福田美蘭」展	15
「第 28 回 岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）」展	28
2. 常設展	
「前衛たちの足跡 岡本太郎とその時代」展	32
「目もあやなオバケ王国 岡本太郎のオバケ論」展	38
「私の現代芸術—コンペイ党宣言」展	42
3. 収集・保存・貸出	46
4. クラウドファンディング	48
5. 情報・刊行物	50
6. 教育・普及事業	
イベント・ワークショップ	51
団体利用実績	58
学校プログラム	59
教材開発と利用	60
どこでも TARO アトリエ	63
美術館教育研究会	64
7. 指定管理者による自主事業	65
8. 川崎市岡本太郎美術館部会	71
II. 資料	73
1. 入館者数統計	73
2. 美術館事業 予算・決算概要	
予算概要	75
決算概要	77

III. 組織名簿 79

川崎市文化芸術振興会議岡本太郎美術館部会 委員名簿

川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

IV. 川崎市岡本太郎美術館概要 80

美術館の目的

美術館事業内容

美術館沿革

施設・設備概要

V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則 84

条例

条例施行規則

I. 事業報告

1. 企画展

川崎市市制 100 周年記念「生命の交歓 岡本太郎の食」展

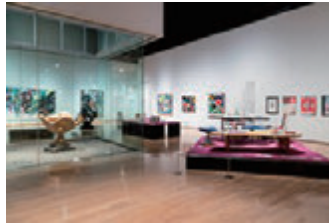
会 期	2024 年 4 月 27 日 (土)～7 月 7 日 (日)
開催日数	62 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
観 覧 料	一般 900 (720) 円、高・大学生・65 歳以上 700 (560) 円、 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	21,936 名
1 日平均	354 名 (小数点以下、四捨五入)
図 録	A5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	201 点
担 当 者	片岡香、細川茉莉香



チラシ



図録



展示風景

■開催趣旨■

岡本太郎にとって「食」とは、味わうことや、栄養をとるということだけではなく、食べる者と食べられる者との生命と生命のぶつかり合いであり、闘いといった生命を自身の身体に取り込む喜びであると考えていました。また、芸術は生活と一体であるべきと考えた岡本は、食卓などの家具やティーポットやグラスといった食器など、食の場で使われ生活にいろどりを与える作品の数々を制作しました。さらに岡本は、書を絵付けした大皿や顔のある茶器など、岡本独自の感性とユーモアあふれる陶芸作品も手がけています。岡本はまた、国内外の食文化や食を支える市場に興味を抱き、取材に訪れる先々の市場に出かけ、そこに住む人々の暮らしや活気あふれる市場の様子など数多く撮影しました。

本展では、「食」を切り口として、油彩、彫刻、陶器、インダストリアルデザイン、写真など、岡本太郎の多彩な作品を岡本の言葉とともに紹介しました。さらに、両親の岡本一平・かの子と過ごした少年時代から、青年期を過ごしたパリ、そして戦後から晩年まで、岡本の食にまつわる資料を展示しました。人生、芸術、そして食べることもまた闘いだと考えていた岡本太郎を「食」という視点から読み解く試みを行いました。

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

「岡本太郎美術館 エイリアン現る」『読売新聞』（川崎版）2024 年 5 月 2 日

「岡本太郎 生命の「食」」『朝日新聞』（川崎版）2024 年 5 月 17 日

「グッド！モーニング」テレビ朝日 2024 年 6 月 16 日

「かながわ美の手帖 父母譲りの活力とパリ仕込みの舌で」『産経新聞』（神奈川版）2024 年 6 月 24 日

『装苑』2024 年 7 月号

「生命の交歓 岡本太郎の食」『毎日新聞』2024 年 7 月 5 日

■関連事業■

・TARO マルシェ at 生田緑地（指定管理者との協働事業）

4年ぶりにTARO マルシェを開催しました。母の塔周辺でキッチンカーやテント販売を行い、「食」を体験いただきました。音楽・アトラクションステージや、作家・スタッフによるワークショップなども行いました。（P.65を参照）

日 時 2024年4月28日（日）11:00～16:00

場 所 母の塔周辺

出店作家 長雪恵、遅四グランプリ実行委員会、月光社、つん、野村絵梨、村尾かずこ
（第27回TARO賞作家6組）

参加人数 850名



・パイラ人がやって来る!!

岡本太郎がデザインしたパイラ人のパポットを展示しました。

パイラ人…映画『宇宙人東京に現わる』（大映/1956年公開）に登場する宇宙人

日 時 2024年4月27日（土）～5月6日（月）10:00～16:30

場 所 カフェテリア TARO テラス席横



・カフェテリア TARO 企画展限定メニュー

会期中に「岡本太郎の食」にちなんだ特別メニューとしてコンソメスープ、クラフトビール、企画展限定メニュー（カリフラワーのペペロンチーノ）を提供しました。また、毎日10食限定でTAROアフタヌーンティーとして岡本太郎デザインのカップ&ソーサーで特別なティータイムをお楽しみいただきました。

○毎日10食限定！TAROアフタヌーンティー

時 間 11:00～（10食分終了まで）

料 金 1,300円（税込）

内 容 ドリンク、サンドイッチ、ケーキ、豆菓子

提 供 数 229セット



・ミュージアムショップ

企画展と連携した商品（秋田銘菓）を販売しました。



・担当学芸員によるギャラリートーク

日 程 ①5月26日（日）②6月15日（土）③6月30日（日）14:00～

場 所 企画展示室

料 金 無料（要観覧料）

参加人数 ①40名 ②40名 ③52名



■出品リスト■

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状
1章 岡本太郎と一平・かの子				
1	チャップリンせんべい	岡本一平	不明	紙、絵具
2	新津宛葉書	岡本一平	不明	紙、墨
3	『世界一周の絵手紙』	岡本一平	1924	出版：磯部甲陽堂

4	『増補世界一周の絵手紙』	岡本一平	1929	出版：磯部甲陽堂
5	『かの子の記』	岡本一平	1942	出版：小学館
6	『紙上世界漫画漫遊』	岡本一平	1924	出版：実業之日本社
7	アベック銀ブラ買い物記	岡本かの子	1934	紙、鉛筆、インク
8	親子因縁	画：岡本一平 短歌：岡本かの子	不明	紙、墨、絵具
9	伊豆の海に白波たてば	岡本かの子	1919 年頃	紙、墨
10	春陽会ポスター	岡本一平	1932	紙
11	海の幸山の幸	岡本一平	不明	紙、墨、絵具
12	かの子観音	画：岡本一平 短歌：岡本かの子	不明	紙、墨、絵具
13	母と子	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、絵具
14	誇り	岡本太郎	1962	繊維強化プラスチック
15	『肉筆漫画開國六十年史図絵』	岡本一平	1927	紙、墨、絵具
16	『母の手紙』	岡本太郎	1941	出版：婦女界社
17	『物語紀行文集 世界に摘む花』	岡本かの子	1936	出版：実業之日本社
18	「異国春色抄」草稿	岡本かの子	不明	紙、インク
19	『かの子抄：随筆』	岡本かの子	1934	出版：不二屋書房
2 章 パリ時代～戦後				
20	傷ましき腕	岡本太郎	1936/49	油彩、キャンバス
21	リボンの祭	岡本太郎	1935	戦火により焼失
22	リボンを結んだ女	岡本太郎	1936	戦火により焼失
23	コンポジション	セザール・ドメラ	1973	シルクスクリーン
24	時空にわたるコンポジション No. 36	ジャン・ゴラン	1973	シルクスクリーン
25	青いフォルム	ゾフィー・トイバー ＝アルプ	1973	シルクスクリーン
26	クリマ	岡本太郎	1951	油彩、キャンバス
27	森の掟	岡本太郎	1950	油彩、キャンバス
28	犬	岡本太郎	1954	油彩、キャンバス
29	駄々っ子	岡本太郎	1951	油彩、キャンバス
30	ドラマ	岡本太郎	1958	油彩、キャンバス
31	歓喜	岡本太郎	1963	油彩、キャンバス
32	リボン	岡本太郎	1953	撮影場所：日本橋高島屋
33	旅への誘い	岡本太郎	1953	撮影場所：日本橋高島屋
34	群像	岡本太郎	1953	撮影場所：日本橋高島屋
35	台所合戦	岡本太郎	1953	撮影場所：日本橋高島屋

36	変身	岡本太郎	1953	撮影場所：日本橋高島屋
37	実りの秋	岡本太郎	1953	撮影場所：日本橋高島屋
38	駄々っ子	岡本太郎	1953	撮影場所：日本橋高島屋
3章 生命の交歓				
39	装える戦士	岡本太郎	1962	油彩、キャンバス
40	縄文人	岡本太郎	1982	繊維強化プラスチック
41	縄文土器（富山県出土）	岡本太郎	1956/3/23	ゼラチン・シルバー・プリント
42	若い闘争	岡本太郎	1962	油彩、キャンバス
43	樹霊 I	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
44	訣別	岡本太郎	1973	油彩、キャンバス
45	遭遇	岡本太郎	1981	油彩、キャンバス
46	よろこび	岡本太郎	1982	油彩、キャンバス
47	鳥	岡本太郎	1963	コンクリート
48	サカナ	岡本太郎	1960	コンクリート
49	鹿踊り（花巻）/岩手	岡本太郎	1957/6/16	ゼラチン・シルバー・プリント
50	愛撫	岡本太郎	1964	油彩、キャンバス
51	戦士	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック
52	千手		1965	油彩、キャンバス
4章 生活を彩る				
53	海辺の肖像	岡本太郎	1973	油彩、キャンバス
54	サカナ	岡本太郎	1973	油彩、キャンバス
55	眼と眼—コミュニケーション	岡本太郎	1980	繊維強化プラスチック、リキテックス
56	いいものに乾杯	岡本太郎	不明	ポスター
57	岡本太郎作「顔のグラス」	岡本太郎	1976	ポスター
58	おっ、顔が変わったな。	岡本太郎	1977	ポスター
59	科学万博記念	岡本太郎	1985	ポスター
60	原色卓	岡本太郎	1967	合板、金属
61	緑の太陽	岡本太郎	1969	ガラス
62	水差し男爵	岡本太郎	1977	ガラス
63	愛情	岡本太郎	1965	ガラス
64	いのち	岡本太郎	1986	アルミ
65	顔のプレート	岡本太郎	1976	ガラス
66	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
67	歩み	岡本太郎	1967	陶磁
68	顔	岡本太郎	1990	ガラス
69	まつげ	岡本太郎	1978	ガラス、ステンレス

70	手の灰皿	岡本太郎	1979	ガラス
71	ティーテーブル 遊び	岡本太郎	1967	合板、金属
72	プラネットチョコレート	岡本太郎	1959	スチール
73	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス
74	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
75	スツール	岡本太郎	1967/2005	アルミニウム、布
76	鳥	岡本太郎	1982	絹
77	鳥	岡本太郎	1982	絹
78	魚	岡本太郎	1965	絹
79	魚	岡本太郎	1965	絹
80	男の子	岡本太郎	不明	陶磁
81	女の子	岡本太郎	不明	陶磁
82	夢の鳥	岡本太郎	1977	陶磁
83	太郎鯉	岡本太郎	1981	布
84	花ひらく	岡本太郎	1977	陶磁
85	黒い太陽	岡本太郎	1977	陶磁
86	顔	岡本太郎	1977	陶磁
87	喜	岡本太郎	1984	紙、木、漆
88	喜	岡本太郎	1984	紙、木、漆
89	岩手・藤沢 野焼祭	岡本太郎	1991	綿
90	人間と海	岡本太郎	1976	繊維強化プラスチック
91	人間と自然	岡本太郎	1975	繊維強化プラスチック
5章 岡本太郎の陶芸作品				
92	挑む	岡本太郎	1980	紙、墨、絵具
93	顔	岡本太郎	1952	陶磁/常滑
94	ふるさと	岡本太郎	1987	陶磁/瀬戸
95	陽	岡本太郎	1987	陶磁/瀬戸
96	まなざし	岡本太郎	1987	陶磁/瀬戸
97	はなたか	岡本太郎	1987	陶磁/瀬戸
98	潮騒	岡本太郎	1987	陶磁/瀬戸
99	猿	岡本太郎	1978	陶磁/月夜野
100	湯のみ	岡本太郎	1978	陶磁/月夜野
101	夢	岡本太郎	1978	陶磁/月夜野
102	馬	岡本太郎	1978	陶磁/月夜野
103	花	岡本太郎	1978	陶磁/月夜野
104	群舞	岡本太郎	1977	陶磁/月夜野

105	浮遊	岡本太郎	1987	陶磁/瀬戸
106	樹下嬉遊図皿	岡本太郎	1950	陶磁
107	風	岡本太郎	1968	陶磁/瀬戸
108	無邪気	岡本太郎	1981	陶磁/月夜野
109	耳助	岡本太郎	1981	陶磁/月夜野
110	しっぽ	岡本太郎	1981	陶磁/月夜野
111	顔	岡本太郎	1989	陶磁/伊豆
112	青い炎	岡本太郎	1987	陶磁/瀬戸
113	笑くぼ	岡本太郎	1981	陶磁/月夜野
114	蕾	岡本太郎	1981	陶磁/月夜野
115	顔	岡本太郎	1988	陶磁/伊豆
116	山川(冬)	岡本太郎	1989	陶磁/伊豆
117	山川(夏)	岡本太郎	1989	陶磁/伊豆
118	月の顔	岡本太郎	1980	陶磁/越前
119	太陽	岡本太郎	1980	陶磁/越前
120	味	岡本太郎	1988	陶磁/伊豆
121	顔	岡本太郎	1988	陶磁/伊豆
122	聴く	岡本太郎	1987	陶磁/瀬戸
123	日輪	岡本太郎	1987	陶磁/瀬戸
124	地の叫び	岡本太郎	1987	陶磁/瀬戸
125	ゆらめく	岡本太郎	1987	陶磁/瀬戸
126	れんげの大鉢	岡本太郎	1984	陶磁/瀬戸
127	太陽の波紋	岡本太郎	1987	陶磁/瀬戸
128	犬の植木鉢	岡本太郎	1955	陶磁/信楽
129	岡本太郎宛 書簡	勅使河原著風	1955	墨、紙
130	雑草	岡本太郎	1956	陶磁/東京
131	スモーキングセット	岡本太郎	1952	陶磁/東京
132	四ツ足	岡本太郎	1956	陶磁/東京
133	雷神	岡本太郎	1978	陶磁/月夜野
134	風神	岡本太郎	1978	陶磁/月夜野
135	母	岡本太郎	1981	リトグラフ
136	夢	岡本太郎	1980	リトグラフ、油彩
137	愛	岡本太郎	1981	リトグラフ
138	炎	岡本太郎	1988	リトグラフ、油彩
139	歓喜	岡本太郎	1977	陶磁/月夜野

6章 旅と食 岡本太郎の写真

140	苫小牧/北海道	岡本太郎	1965/9/27-10/2	ゼラチン・シルバー・プリント
141	苫小牧/北海道	岡本太郎	1965/9/27-10/2	ゼラチン・シルバー・プリント
142	炉ばた/秋田	岡本太郎	1957/2/13	ゼラチン・シルバー・プリント
143	炉ばた/なまはげ/秋田	岡本太郎	1957/2/16	ゼラチン・シルバー・プリント
144	炉ばた/猫/秋田	岡本太郎	1957/2/16	ゼラチン・シルバー・プリント
145	市場/八戸/青森	岡本太郎	1965/2/16-17	ゼラチン・シルバー・プリント
146	鹿踊り/花巻/岩手	岡本太郎	1957/6/16	ゼラチン・シルバー・プリント
147	ネコグルマ/岩手	岡本太郎	1957/5/17	ゼラチン・シルバー・プリント
148	羊の群れ/岩手	岡本太郎	1957/6/18	ゼラチン・シルバー・プリント
149	牛と岡本太郎/岩手	村上善男	1957/6/18	ゼラチン・シルバー・プリント
150	深大寺 そば屋/東京	岡本太郎	1957/9/20	ゼラチン・シルバー・プリント
151	錦小路/京都	岡本太郎	1957/4/16	ゼラチン・シルバー・プリント
152	島原「角屋」餅つき之夜に/京都	岡本太郎	1954/12/25	ゼラチン・シルバー・プリント
153	心斎橋付近/大阪	岡本太郎	1957/1/17	ゼラチン・シルバー・プリント
154	大阪市街/大阪	岡本太郎	1957/1/18	ゼラチン・シルバー・プリント
155	法善寺横丁/大阪	岡本太郎	1957/1/17	ゼラチン・シルバー・プリント
156	飲食店/大阪	岡本太郎	1957/1/17	ゼラチン・シルバー・プリント
157	花田植/広島	岡本太郎	1963/6/23	ゼラチン・シルバー・プリント
158	花田植/高峰神社/飾牛/広島	岡本太郎	1963/6/23	ゼラチン・シルバー・プリント
159	花田植/広島	岡本太郎	1963/6/23	ゼラチン・シルバー・プリント
160	花田植/広島	岡本太郎	1963/6/23	ゼラチン・シルバー・プリント
161	漁具（疑似針）/高知	岡本太郎	1957/8/13	ゼラチン・シルバー・プリント
162	美しい形のヤス/高知	岡本太郎	1957/8/13	ゼラチン・シルバー・プリント
163	御畳瀬港/高知	岡本太郎	1957/8/12-13	ゼラチン・シルバー・プリント
164	長崎市街/長崎	岡本太郎	1957/3/6	ゼラチン・シルバー・プリント
165	大浦市場付近/長崎	岡本太郎	1957/3/7	ゼラチン・シルバー・プリント
166	ごまパン/長崎	岡本太郎	1957/3/8	ゼラチン・シルバー・プリント
167	お墓の石塔の上にイカが干してある /長崎	岡本太郎	1957/3/7	ゼラチン・シルバー・プリント
168	琉球紅型研究会/沖縄	岡本太郎	1959/11/21	ゼラチン・シルバー・プリント
169	沖縄・石垣島	岡本太郎	1959/11/28	ゼラチン・シルバー・プリント
170	宮古港/沖縄	岡本太郎	1959/11/30	ゼラチン・シルバー・プリント
171	いるか漁/沖縄	岡本太郎	1959/12/2	ゼラチン・シルバー・プリント
172	石垣の市場にて/沖縄	岡本太郎	1959/11/27	ゼラチン・シルバー・プリント
173	牧志公設市場/沖縄	岡本太郎	1959/11/18	ゼラチン・シルバー・プリント
174	撮影者：不明 沖縄	岡本太郎	撮影年不明	ゼラチン・シルバー・プリント

175	山羊焼き/石垣島/沖縄	岡本太郎	1959/11/28	ゼラチン・シルバー・プリント
176	山羊焼き/石垣島/沖縄	岡本太郎	1959/11/28	ゼラチン・シルバー・プリント
177	山羊焼き/石垣島/沖縄	岡本太郎	1959/11/28	ゼラチン・シルバー・プリント
178	久高島/沖縄	岡本太郎	1959/11/24	ゼラチン・シルバー・プリント
179	エラブ鰻/久高島/沖縄	岡本太郎	1959/11/24	ゼラチン・シルバー・プリント
180	商店とこどもたち/沖縄	岡本太郎	1959/11/20	ゼラチン・シルバー・プリント
181	糸満の市場/沖縄	岡本太郎	1959/11/22	ゼラチン・シルバー・プリント
182	市場の風景/沖縄	岡本太郎	1959/11/27	ゼラチン・シルバー・プリント
183	市場/沖縄	岡本太郎	1959/11/18	ゼラチン・シルバー・プリント
184	糸満の市場/沖縄	岡本太郎	1959/11/22	ゼラチン・シルバー・プリント
185	泊港/沖縄	岡本太郎	1959/11/25	ゼラチン・シルバー・プリント
186	済州島/韓国	岡本太郎	1964	ゼラチン・シルバー・プリント
187	キムチを漬ける頃/韓国	岡本太郎	1964	ゼラチン・シルバー・プリント
188	南大門市場/韓国	岡本太郎	1977/6/27	ゼラチン・シルバー・プリント
189	香港	岡本太郎	1966	ゼラチン・シルバー・プリント
190	果物市場/メルカド・メキシコ/メキシコ	岡本太郎	1967/7/24	ゼラチン・シルバー・プリント
191	オハカの市場/メキシコ	岡本太郎	1967/7/29	ゼラチン・シルバー・プリント
192	オハカの市場/メキシコ	岡本太郎	1967/7/29	ゼラチン・シルバー・プリント
岡本太郎収集品				
作品名・収集地				
193	ぶりこハタハタ 秋田	不明	不明	
194	虎の張子 福島	不明	不明	
195	民族人形 メキシコ	不明	不明	
196	金ベコッコ 岩手	不明	不明	
197	野菜独楽	不明	不明	
198	加賀獅子頭 石川	不明	不明	
199	笹野一刀彫 鶏 山形	不明	不明	
200	チャグチャグ馬コ 岩手	不明	不明	
201	Birds デンマーク (Jacob Hermann 作)	Jacob Hermann	不明	

川崎市市制 100 周年記念「芸術は、自由の実験室 夏のアートキャンプ」展

会 期	2024 年 7 月 20 日 (土)～9 月 1 日 (日)
開催日数	36 日 *台風の影響による、施設点検のため 8/30、8/31 は臨時休館
主 催	川崎市岡本太郎美術館
観 覧 料	一般 900(720)円、高・大学生・65 歳以上 700(560)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	10,342 名
1 日 平 均	287 名(小数点以下、四捨五入)
図 録	B5 変型
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	57 点
担 当 者	佐藤玲子、千村曜子、鈴木亜優



チラシ



図録



展示風景

■開催趣旨■

岡本太郎は、芸術は見るだけではなく全ての人の作るものであり、自由な衝動のまま「勝手気ままに描ける」子どもたちだけでなく、「精神の皮が硬くなって」しまい、自分自身の「自由感」を忘れてしまった大人にも有効な、「自由の実験室」なのだとっていました。

本展は、岡本太郎現代芸術賞出身となる 4 名の作家、舞踊のようにのびやかに、大きく身体を使って弧を描くドローイングを重ねていく國久真有。思いつくかぎりの様々な身体的負荷をかけた絵筆「グングニル」を使って、制作を楽しむ園部恵永子。材木だけでなく、漫画雑誌『ジャンプ』や日々の暮らしの日用品からも仏を彫り出す仏師、西除闇。麻を重ねた成型と素材を生かした彩色、乾漆技法を用いて、人の佇まいや歴史を思わせる表現をダイナミックに見せる村上力による、展示とワークショップです。

自在な発想と本気の遊びから生み出される彼らの作品とともに、会場での公開制作やアーティストトーク、多彩なワークショップなどを通し、年代を問わず夏のキャンプのように身体を使って、自由に芸術を楽しめる企画となりました。

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

- 「自由な芸術 触れにきて」『毎日新聞』(神奈川版) 2024 年 7 月 21 日
- 「自由な作品、創作現場も」『神奈川新聞』2024 年 7 月 27 日
- 「夏休みは親子で 芸術の自由実験」『東京新聞』(神奈川版) 2024 年 7 月 28 日
- 「かわさきホット☆スタジオ」かわさき FM 2024 年 8 月 2 日
- 「暑さを逃れて迎り着きたい展示 4 選」『POPEYE Web』2024 年 8 月 9 日
- 「LOVE かわさき」テレビ神奈川 2024 年 8 月 10 日
- 「自由な作品の迫力間近で」『神奈川新聞』2024 年 8 月 12 日

■関連事業■

・出品作家による公開制作

会期中、出品作家が展示室で作品制作を行います。間近で制作を見られるチャンス！

日 程	國久真有 7月20日（土）、21（日）、23日（火）～28日（日）他 園部恵永子 7月20日（土）、21（日）、28日（日）、8月10日（土）、24（土）9月1日（日）他 西除闇 8月3日（土）、4（日）、14日（水）他
場 所	企画展示室
料 金	無料（要観覧料）

・不自由で自由な筆？！『グングニル』をつくって描こう

日 時	2024年7月20日（土）13:30～15:00
内 容	出品作家・園部恵永子と展覧会会期中に来館者が使う“描きたいままに描けない仕掛けのある筆「グングニル」”を制作するワークショップ。最後に参加者は、出品作品《キャンバスツリー》に夏の生きものを描きました。
講 師	園部恵永子
対 象	小学生～大人 ※小学3年生以下は要保護者参加
場 所	企画展示室
料 金	無料（要観覧料）
参加人数	5組（子ども5名、大人7名＊付添含む）（先着順/電話受付）



・オリジナル埴輪をつくろう！真夏のコネコネはにわくしょっぷㄣ∴ㄣ

日 時	2024年8月3日（土）①10:30～12:00 ②14:00～15:30
内 容	埴輪好きの園部恵永子と、出土された埴輪を参考に自分だけのはにわをつくるワークショップ。各はにわは成形まで行い、出来たオリジナル作品を前方後円墳の絵の上に置いて鑑賞しました。
講 師	園部恵永子
対 象	小学生～大人
場 所	企画展示室
料 金	500円＋観覧料
参加人数	①5名（子ども5名、大人11名＊付添含む） ②6名（子ども6名、大人12名＊付添含む）（先着順/電話受付）



・私の「バベルの塔」をつくろう

日 時	2024年8月4日（土）①10:00～11:30 ②13:30～15:00
内 容	出品作家の村上力によるワークショップ。麻布を使った彫刻技法で、オリジナルの「バベルの塔」をつくりました。
講 師	村上力
対 象	小学生～大人 ＊小学3年生以下は要保護者同伴
場 所	企画展示室
料 金	500円＋観覧料
参加人数	①16名（子ども9名、大人7名）②16名（子ども8名、大人8名） （先着順/電話受付）



・出品作家によるリレートーク&サンバと夕陽会による即興演奏会

日 時	2024年8月10日(土) リレートーク 14:00～ 演奏会 15:30～
内 容	展出品作家4名によるリレートークと、西除闇によるサンバ「辺境のトロピカリズム」と國久真有の参加バンド「ハードコア夕陽会」による演奏会を展示室内で開催しました。
ト ー ク	西除闇、園部恵永子、國久真有、村上力
演 奏	西除闇、國久真有ほか
場 所	企画展示室
料 金	無料(要観覧料)
参加人数	リレートーク:61名 演奏会:114名(申込不要)



・今日の夕陽を振り返る会

日 時	2024年8月11日(日) 14:00～15:00
内 容	國久真有さんもメンバーである「ハードコア夕陽会」による映像投影とアンビエントミュージックの即興演奏会を行いました。
演 奏	西除闇、國久真有ほか
場 所	企画展示室
料 金	無料(要観覧料)
参加人数	182名(申込不要)



・オリジナル楽器をつくって鳴らそう “シキシキ町のまつりごと”

日 時	2024年8月14日(水) 14:00～15:30
内 容	身の回りにある日用品などを使って、サンバのパークッション(タイコ、ガンザ)をつくるワークショップ。最後には、つくった楽器を鳴らして館内を練り歩く演奏会を行いました。
講 師	西除闇
対 象	小学生 ＊小学3年生以下は要保護者同伴
場 所	企画展示室
料 金	無料(要観覧料)
持 ち 物	加工をしたスチール製空き缶、小豆や大豆、お米などの乾燥した粒・1合程度
参加人数	5名(子ども5名、大人＊付添未就学児含む6名)(先着順/電話受付)



・サマー・アートスクール

日 時	2024年①8月25日(日) ②9月1日(日) 13:30～14:15
内 容	長年学校で教鞭をとる村上力の作家の視点からみた①「阿修羅像」②「ピカソ」についての授業を行いました。
講 師	村上力
対 象	小5学年～大人
場 所	企画展示室
料 金	無料(要観覧料)
参加人数	①65名 ②76名(申込不要)



・来館者参加型作品

内 容 4名のアーティストの展示エリアに、参加して楽しめる仕掛けを随所に設けました。さわれる作品、記念撮影コーナーや、作家の制作を追体験できるエリアなど、来館者参加型作品として、沢山の方にお楽しみいただきました。

参加型作品 西除闇「EM-MER 被る仏」

園部恵永子「なかまをふやそう！真夏のグングニル体験～いきもの編」(7月20日15:00～9月1日)

國久真有「身体から生まれる円を描いてみよう」(7月30日～9月1日)

村上力「木製玩具で遊ぼう」

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)

申 込 不要

■出品リスト■

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	所蔵*
1	ENRiEDO 一厭離穢土一	西除闇	2018	流木	作家蔵
2	藻が湖観音像	西除闇	2022	流木	作家蔵
3	散る花のナラティブ	西除闇	2024	桜	作家蔵
4	シマの怒り・incidente	西除闇	2022	流木	作家蔵
5	五里	西除闇	2024	桜	作家蔵
6	再び樹の下で	西除闇	2023	ツツジ	作家蔵
7	I'm lovin' it	西除闇史	2019	ダボ(木)	作家蔵
8	野生のマック	西除闇	2024	インクジェット・プリント	作家蔵
9	MANgaDARA	西除闇	2023	週刊少年ジャンプ	作家蔵
10	Juizo 一裁き屋一	西除闇	2024	流木	作家蔵
11	Em-MER 一闇魔一	西除闇	2024	流木	作家蔵
12	信仰コレクション 20 より	園部恵永子	2023-24	キャンバス、油絵具	作家蔵
13	パレット	園部恵永子	2024	キャンバス、アクリルガッシュ ユ	作家蔵
14	グニログ 一奉納の記録	園部恵永子	2024	映像	作家蔵
15	一奉納一	園部恵永子	2024	布、アクリルガッシュ	作家蔵
16	担グニル(かつぐにる)	園部恵永子	2024	竹、発砲ウレタン	作家蔵
17	写真の中のキャンバスにグニつてみて	園部恵永子	2024	写真ポスター	作家蔵
18	インタビュー #3	園部恵永子	2024	映像	作家蔵
19	はじめてのグングニル	園部恵永子	2024	キャンバス、油絵具	作家蔵
20	野	園部恵永子	2024	障子紙、木枠	作家蔵
21	炭グニル(すみぐにる)進行中	園部恵永子	2024	布、木枠、木炭、グングニル (筆)	作家蔵
22	炭グニル	園部恵永子	2024	布、木枠、木炭	作家蔵

23	キャンバスツリー	園部恵永子	2024	木材、キャンバス、紙、布、グ ングニル（筆）	作家蔵
24	鳥瞰モニター	園部恵永子	2024	モニター、カメラ	作家蔵
25	WIT-WIT HOLE NIGHT LIGHT	國久真有	2019	アクリル絵の具、キャンバス	作家蔵
26	WIT-WIT HOLE WIDE LONG PLATEAU	國久真有	2024	アクリル絵の具、キャンバス	作家蔵
27	WIT-WIT HOLE WIDE LONG PLATEAU 制作風景	國久真有	2024	映像	作家蔵
28	BPM -DAY-	國久真有	2024	アクリル絵の具、キャンバス	作家蔵
29	CYU-LIPS	國久真有	2021-22	アクリル絵の具、ペン、キャン バス、紙	作家蔵
30	SNOW MOUNTAIN	國久真有	2022-23	アクリル絵の具、キャンバス、 紙	作家蔵
31	OUR METEOROLOGY	國久真有	2023-34	ペン、紙	作家蔵
32	抽象絵画の要素について	國久真有	2011-24	映像	作家蔵
33	WIT-WIT HOLE HONG KONG CLOUD	國久真有	2015-23	アクリル絵の具、キャンバス	作家蔵
34	「學校」	村上力	2024	複合素材	作家蔵
35	ピカソ像	村上力	2019	麻布、樹脂、漆、木、他	作家蔵
36	C・L・S 像	村上力	2024	麻布、樹脂、漆、木、椅子、他	作家蔵
37	B・D 像	村上力	2013	麻布、樹脂、漆、木、他	作家蔵
38	娘3歳の像	村上力	2008	麻布、樹脂、漆、木、他	作家蔵
39	井上氏像	村上力	2024	麻布、樹脂、漆、木、他	作家蔵
ゾンビ・ピカソ…壁面彫刻					
40	ゾンビ・ピカソ	村上力	2022	麻布、樹脂、鉄、発砲スチロー ル、布、アクリル絵具、他	作家蔵
41	マタイ（伯刺西爾）	村上力	2019	麻布、樹脂、漆、木、他	作家蔵
42	マタイ（伯刺西爾）Ⅱ	村上力	2021	麻布、樹脂、漆、木、他	作家蔵
「PW～日本人の肖像」…9体の人物像によるインスタレーション					
43	自刻像	村上力	2021	麻布、樹脂、漆、木、他	作家蔵
44	ミノタウロス	村上力	2021	麻布、樹脂、漆、木、他	作家蔵
45	F・M 像	村上力	2021	麻布、樹脂、漆、木、他	作家蔵
46	Y・Y 像	村上力	2021	麻布、樹脂、漆、木、他	作家蔵
※ 他に半身像5点					
47	㊤一品洞…彫刻、絵画、玩具、 他によるインスタレーション	村上力	2020	複合素材	作家蔵
48	岡本太郎像	村上力	2020	麻布、樹脂、漆、木、他	作家蔵

49	飛行船《レインボー号》	岡本太郎	1973	繊維強化プラスチック
50	若い太陽の顔	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
51	マスク	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
52	未来を拓く	岡本太郎	1987	繊維強化プラスチック
53	花びらの椅子	岡本太郎	1970/1998	繊維強化プラスチック
54	踊り	岡本太郎	1982	繊維強化プラスチック
55	縄文人	岡本太郎	1982	繊維強化プラスチック
56	動物	岡本太郎	1983	繊維強化プラスチック

*記載の無いものは岡本太郎美術館蔵

川崎市市制 100 周年・開館 25 周年記念 「岡本太郎に挑む 浅井裕介・福田美蘭」展

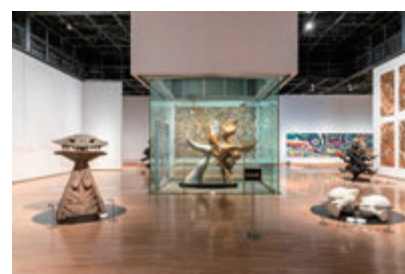
会 期	2024 年 10 月 12 日(土)～2025 年 1 月 13 日(月祝)
開催日数	80 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
協 力	ANOMALY、DNP 大日本印刷、株式会社フェリシモ「ミュージアム部」
観 覧 料	一般 1,000(800)円、高・大学生・65 歳以上 800(640)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	29,411 名
1 日平均	368 名(小数点以下、四捨五入)
図 録	B5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	236 点
担 当 者	喜多春月、加藤志帆、片岡香



ポスター



図録



展示風景

■開催趣旨■

川崎市市制 100 周年、そして当館の開館 25 周年を記念した、浅井裕介（1981-）と福田美蘭（1963-）の 2 人の現代作家による展覧会です。常設展示室と企画展示室の双方で開催しました。

浅井は土、水、小麦、テープ、ペンなどの身近な素材によって、あらゆる生物の根源を想起させるような神話的世界を描く作家です。展覧会が開催される各地で採取した土を絵具にし、現地の人々と協力して大規模な作品を制作するなど、土地に根ざした作品を手掛けることでも知られています。

福田は、芸術や文化、現代社会への批評的なまなざしを可視化する作家です。綿密なリサーチと福田ならではのウィットに富んだ視点に基づく作品は、鑑賞者へ物事に対する新たな視点をもたらします。今回は、福田がいう「生真面目」な岡本太郎に、全点新作で挑みました。

本展では、アートシーンの第一線で活躍する 2 人の作家が、岡本太郎と関連づけた自作を企画展示室に展示しました。本展のために、浅井は川崎市内で採取した土を絵具にして巨大な新作を制作しました。福田は新作を展示するほか、岡本の作品によるインスタレーションを展開しました。また、常設展示では、二人の作家がそれぞれ独自の視点で選んだ当館収蔵の岡本作品を紹介しました。

芸術一家に生まれ、青年時代に哲学や民族学を学んだ岡本太郎は、執筆活動で自身の思想を深めながら、絵画・彫刻・工芸・デザインなどの既存の枠組みを超えて活躍をしました。本展は、そうした岡本の表現・思想の多面性を、世代や表現方法の異なる 2 人の現代作家の視点で見直す機会となりました。また、互いに触発しあうことで見えてくる、三者それぞれの新たな一面をご紹介しますことができました。

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

佐藤圭「現代作家 2 人が岡本太郎に挑む 「浅井裕介・福田美蘭」展」『東京新聞』（川崎版）2024 年 11 月 3 日

山田貴美子「anan Entertainment News Art 川崎市市制 100 周年・開館 25 周年記念「岡本太郎に挑む 浅井裕介・福田美蘭」展」『anan』No. 2420 2024 年 11 月 6 日

喜多春月「ただの「歴史」としないために 川崎市市制 100 周年・開館 25 周年記念 岡本太郎に挑む 浅井裕介・福田美蘭」『新美術新聞』2024 年 11 月 15 日

高橋川「川崎の土で描く生命の躍動 浅井裕介 現代美術家」『神奈川新聞』2024 年 11 月 17 日

田中ゑれ奈「岡本太郎から広がる新世界 浅井裕介・福田美蘭展」『朝日新聞』2024年11月19日
高橋円「岡本太郎に挑む 浅井裕介、福田美蘭 現代美術家2人展開催」『神奈川新聞』2024年11月25日
今岡竜弥「岡本太郎に挑む2人展 対極主義から発想 新たな表現」『読売新聞』2024年12月14日
「じゅん散歩」テレビ朝日 2024年12月16日
山根聡「かながわ美の手帖 「対極」にある2人 新しい空間を創造」『産経新聞』（神奈川版）2024年12月21日
山口晶子「見聞録 感触や視点、出会い直す 川崎 岡本太郎に挑む2人展」『茨城新聞』2024年12月23日
「日曜美術館「アートシーン」」NHK Eテレ 2024年12月23日
「福田美蘭と浅井裕介 TARO 芸術をめぐるそれぞれの冒険」『芸術新潮』2025年1月号
藤田一人「「岡本太郎に挑む 浅井裕介・福田美蘭」展 多面的な顔」『公明新聞』2025年1月8日

■関連事業■

・浅井裕介：新作制作のための土募集

浅井氏の新作の材料となる土を川崎市内から募りました。生田緑地内で本展と同時開催の「全国都市緑化かわさきフェア」とも連携しました。

日 時 2024年8月1日（木）～9月16日（日祝）

依 頼 先 建設緑政局緑化フェア推進室、建設緑政局生田緑地整備事務所、市内市立小学校。なお、依頼先には、関係団体へ土募集の周知を依頼しました。

提供件数 27件

・浅井裕介：作品制作ボランティア活動

浅井裕介氏の新作制作を補助するボランティアスタッフを募り、浅井氏とともに長期間に渡って作品制作を行いました。

日 時 2024年8月20日（火）～9月29日（日）（休館日を除く23日間）

場 所 創作アトリエ、企画展示室

対 象 以下の条件を全て満たす方。18歳以上で、ボランティア活動の趣旨を理解し、作家の制作に関心があり、展覧会を応援していただける方（ただし、保護者同意のもと、高校生以上も参加可とする）／川崎市岡本太郎美術館に通える方／複数日参加可能な方／連絡のための固定電話や携帯電話（メールアドレス）を所有している方

参加特典 2回参加ごとに、浅井氏のオリジナルシールを1枚贈呈

5回以上の参加者にはレセプションの招待状を、10回以上

上の参加者には本展チケット10枚を贈呈

申 込 ウェブ受付（期間：7月9日（火）10:00～7月30日（火）17:00）

参加人数 44名（延べ参加人数 158人）



・浅井裕介：公開制作

企画展示室にて浅井裕介氏が作品制作を行いました。来館者の方々に、作品が生まれるリアルな現場をご覧いただきました。（完成した作品は本展にて展示）

日 時 2024年9月22日（日祝）13:30～15:30

場 所 企画展示室

対 象 どなたでも（小学生以下は要保護者同伴）

料 金 無料（要観覧料）

参加人数 216名



・ワークショップ「はじまりのグー」

手のひらをぎゅっと握りしめて「はじまりの彫刻」を作りました。

日 時 2024年10月27日(日) 10:00～11:30
場 所 創作アトリエ
対 象 小学4年生以上
講 師 浅井裕介
料 金 500円＋観覧料
申 込 ウェブ受付 (期間: 9月25日(水) 10:00～10月3日(木) 17:00)、抽選制
参加人数 11名



・ワークショップ「美術館と生田緑地のお散歩」

自然や生命をテーマに創作する浅井裕介氏と美術館や生田緑地のなかを散歩しました。作家の話を聞きながら、歩いた場所について考察、記憶し、自然のなかで時間を共有しました。

日 時 2024年10月27日(日祝) 13:30～15:00
場 所 川崎市岡本太郎美術館 館内、生田緑地内
対 象 高校生以上
講 師 浅井裕介
料 金 500円＋観覧料
申 込 ウェブ受付 (期間: 9月25日(水) 10:00～10月3日(木) 17:00)、抽選制
参加人数 17名



・浅井裕介と担当学芸員によるギャラリートーク

浅井裕介氏に、展示中のご自身の作品についてや、制作秘話などを会場でお話いただきました。

日 時 2024年11月2日(土) 15:00～16:00
場 所 企画展示室
対 象 どなたでも
話 し 手 浅井裕介
料 金 無料(要観覧料)
参加人数 209名



・フォレストアートフェスティバル in ラダック 2024 報告会 vol.3

「浅井裕介 創作の旅ーインド・ラダックから岡本太郎美術館まで」

浅井裕介氏が、2024年夏にインド・ラダックにて初めて制作した3つの地上絵についてお話をいただきました。また、インド滞在中から構想を練り、準備を始めていた当館での新作制作について、展示室で作品を鑑賞しながらお話を伺いました。

日 時 2024年12月14日(土) 14:30～16:30
場 所 ガイダンスホール、企画展示室
対 象 どなたでも
話 し 手 浅井裕介、おおくにあきこ(NPO法人ウォールアートプロジェクトアートディレクター)、浜尾和徳(NPO法人ウォールアートプロジェクトディレクター)
料 金 無料(要観覧料)
申 込 メールによる受付。先着順。



主 催 川崎市岡本太郎美術館、NPO 法人ウォールアートプロジェクト

参加人数 64 名

・担当学芸員によるギャラリートーク

日 時 ①2024 年 11 月 24 日（日）14:00～15:00

②2024 年 12 月 7 日（土）14:00～15:00

場 所 企画展示室

対 象 どなたでも

料 金 無料（要観覧料）

参加人数 ①75 名 ②51 名

■出品リスト■

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	所蔵*	備考
1	太陽の鐘	岡本太郎	1966	繊維強化プラスチック		
2	空間	岡本太郎	1934/ 1954	キャンバス、油彩		
3	黒い太陽	岡本太郎	1949	キャンバス、油彩		
4	挑み	岡本太郎	1980	キャンバス、油彩		
5	遊ぶ子	岡本太郎	1954	キャンバス、油彩		
6	二人	岡本太郎	1985	キャンバス、油彩		
7	作家	岡本太郎	1948	紙、鉛筆、墨		
8	瞬間	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、墨		
9	瞬間	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、墨		
10	母と子	岡本太郎	1962	紙、墨		
11	母と子	岡本太郎	1963	紙、墨		
12	母と子	岡本太郎	1968	紙、墨		
13	母と子	岡本太郎	1968	紙、墨		
14	母と子	岡本太郎	1968	紙、墨		
15	樹人	岡本太郎	1951	紙、鉛筆		
16	樹人	岡本太郎	1951	紙、鉛筆		
17	青空	岡本太郎	1954	紙、鉛筆		
18	青空	岡本太郎	1954	紙、鉛筆		
19	青空	岡本太郎	1954	紙、鉛筆		
20	青空	岡本太郎	1954	紙、鉛筆		
21	青空	岡本太郎	1954	紙、鉛筆		
22	クリマ	岡本太郎	1951	紙、鉛筆		
23	クリマ	岡本太郎	1951	紙、鉛筆、インク		
24	クリマ	岡本太郎	1951	紙、鉛筆		

25	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、インク、墨
26	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、インク、墨
27	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、インク、墨
28	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、インク
29	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、墨
30	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、墨
31	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、インク、墨
32	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆
33	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、インク、墨
34	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、インク、墨
35	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、インク、墨
36	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆
37	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆
38	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、インク、墨
39	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、墨
40	燃える人	岡本太郎	1955	紙、鉛筆
41	イカダ流し	岡本一平	不明	紙、墨、絵具
42	作品名不詳	岡本一平	不明	紙、墨、絵具
43	親子因縁	画：岡本一平 歌：岡本かの子	不明	紙、墨、絵具
44	ひととせのはてなるいこひ	岡本かの子	不明	紙、墨
45	起きいでて窓をひらけば	岡本かの子	不明	紙、墨
46	伊豆の海に白波たてば	岡本かの子	1919 年頃	紙、墨
47	かの子撩乱	著：瀬戸内晴美 装丁：岡本太郎	1965	書籍
48	老妓抄 川	著：岡本かの子 装丁：岡本太郎	1986	書籍
49	読谷	岡本太郎	1959	ゼラチン・シルバー・プリント
50	イザイホー	岡本太郎	1966	ゼラチン・シルバー・プリント
51	久高島	岡本太郎	1966	ゼラチン・シルバー・プリント
52	イザイホー・祭りの後見をす るタモト神	岡本太郎	1966	ゼラチン・シルバー・プリント
53	大御嶽	岡本太郎	1959	ゼラチン・シルバー・プリント
54	久高島	岡本太郎	1966	ゼラチン・シルバー・プリント
55	久高島／イザイホー	岡本太郎	1966	ゼラチン・シルバー・プリント

56	ソテツ地獄に苦しむ宮古島の 貧しい農家	岡本太郎	1959	ゼラチン・シルバー・プリント
57	当時の銭湯	岡本太郎	1959	ゼラチン・シルバー・プリント
58	登野城海岸	岡本太郎	1959	ゼラチン・シルバー・プリント
59	久高のろの入墨した手	岡本太郎	1959	ゼラチン・シルバー・プリント
60	作家	岡本太郎	1948	キャンバス、油彩
61	森の家族	岡本太郎	1983	キャンバス、油彩
62	母と子	岡本太郎	1982	キャンバス、油彩
63	赤い顔	岡本太郎	1979	キャンバス、油彩
64	千手	岡本太郎	1965	キャンバス、油彩
65	黒い手	岡本太郎	1983	キャンバス、油彩
66	風神	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩
67	アドレッサン	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩
68	青空	岡本太郎	1954	キャンバス、油彩
69	夢の鳥	岡本太郎	1951	キャンバス、油彩
70	樹人	岡本太郎	1951	キャンバス、油彩
71	クリマ	岡本太郎	1951	キャンバス、油彩
72	まひるの顔	岡本太郎	1948	キャンバス、油彩
73	スツール	岡本太郎	1967	アルミ、布
74	ゆったり	岡本太郎	1956	木、布
75	不明	岡本太郎		陶磁
76	6歳の岡本太郎（写真）		1917	
77	14歳の岡本太郎（写真）		1925	
78	岡本太郎の言葉（『美の呪力ー わが世界美術史』新潮社、1971 年7月より）			※1
79	太陽の塔	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
80	駄々っ子	岡本太郎	1951	キャンバス、油彩
81	駄々っ子	岡本太郎	1975	キャンバス、油彩
82	駄々っ子	岡本太郎	1980	キャンバス、油彩
83	駄々っ子	岡本太郎	1980	キャンバス、油彩
84	流れる夢	岡本太郎	1975	キャンバス、油彩
85	旅立ち	岡本太郎	1975	キャンバス、油彩
86	招待	岡本太郎	1978	キャンバス、油彩
87	美女と野獣	岡本太郎	1949	キャンバス、油彩
88	花びらの椅子	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック

89	歩み	岡本太郎	1967	陶磁	
90	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶磁	
91	駄々っ子	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック	
92	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐	
93	手の椅子	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック	
94	ゆったり	岡本太郎	1956	木、布	
95	マスク	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック	
96	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス	
97	スモーキングセット	岡本太郎	1952	陶磁	
98	太郎鯉	岡本太郎	1981	布、鯉幟	
99	星屑の子どもたち	浅井裕介	2024	陶土、土、釉薬、水彩絵の具	作家蔵 ※2
100	飛行船《レインボー号》	岡本太郎	1973	繊維強化プラスチック	
101	トランプ	岡本太郎	1977	紙	
102	遊ぶ	岡本太郎	1958	木、クラッシュタイル	
103	動物	岡本太郎	1983	繊維強化プラスチック	
104	五大陸	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック	
105	哄笑	岡本太郎	1972	キャンバス、油彩	
106	傷ましき腕	岡本太郎	1936	キャンバス、油彩	
			/1949		
107	梵鐘・歓喜	岡本太郎	1965	ブロンズ	
108	赤い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック	
109	青い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック	
110	樹人	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック	
111	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミ、コンクリート、金属、ライ ト	
112	犬の植木鉢	岡本太郎	1955	陶磁	
113	踊り	岡本太郎	1982	繊維強化プラスチック	
114	千手	岡本太郎	1975	アルミ	
115	喜び	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック	
116	歓喜	岡本太郎	1977	陶磁	
117	れんげ大鉢	岡本太郎	1984	陶磁	
118	うなづく	岡本太郎	1982	陶磁	

119	誰のためのお客さん？	浅井裕介	2024	岡本太郎《歩み》(陶磁)、浅井裕介《星屑の子供》(マスキングテープ、紙、土、蝦夷鹿の血とレバーから作られたプルシアンブルー、綿棒、爪楊枝、ポリスチレンボード、エポキシ樹脂、アクリルレジン)	
120	誰のためのお客さん？	浅井裕介	2024	岡本太郎《歩み》陶磁、浅井裕介《星屑の子供》(マスキングテープ、紙、土、エポキシ樹脂、アクリルレジン)	
121	歩み	岡本太郎	1967	陶磁	※3
122	しっぽ	岡本太郎	1981	陶磁	
123	まなざし	岡本太郎	1987	陶磁	
124	はなたか	岡本太郎	1987	陶磁	
125	ふるさと	岡本太郎	1987	陶磁	
126	聴く	岡本太郎	1987	陶磁	
127	太陽	岡本太郎	1965	プラスチック	
128	午後の日	岡本太郎	1967	ブロンズ	
129	顔のプレート	岡本太郎	1976	ガラス	
130	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス	
131	未来を拓く	岡本太郎	1967	ブロンズ	
132	男の子	岡本太郎	不明	陶磁	
133	女の子	岡本太郎	不明	陶磁	
134	あし	岡本太郎	1978	ガラス	
135	瑞鳥	岡本太郎	1987	繊維強化プラスチック	
136	太郎の手の時計	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック	
137	夢の鳥	岡本太郎	1977	陶磁	
138	顔	岡本太郎	1978	革	
139	日中テレビ祭日本代表団 メダル	岡本太郎	1984	アルミ	
140	国際眼科学会メダル	岡本太郎	1978	ブロンズ	
141	フランス造幣局メダル	岡本太郎	1986	銀、金メッキ	
142	国鉄民営化記念 オリジナルメダル《出発》	岡本太郎	1987	銀	
143	トランプ	岡本太郎	1977	紙	
144	手の椅子	岡本太郎	1970	プラスチック	
145	日本海博覧会	岡本太郎	1973	銀	

146	作品名不詳	岡本太郎	不明	金属	
147	太陽の顔	岡本太郎	1970	金属	
148	花ひらく	岡本太郎	1977	陶磁	
149	顔	岡本太郎	1977	陶磁	
150	爆発	岡本太郎	1981	陶磁	
151	ほほえみ	岡本太郎	1986	陶磁	
152	動物	岡本太郎	1956	ブロンズ	
153	岡本太郎テレビ出演の様子			映像（約3分）	
154	岡本太郎旧蔵 フランス語書籍				
155	7歳のときの落書き	福田美蘭	1970	紙、色鉛筆	作家蔵
156	太陽の塔のスタンプ	福田美蘭	2024	ゴム、鉄、プラスチック	作家蔵
157	黒い太陽	福田美蘭	2024	書籍（岡本太郎『黒い太陽』美術出版社、1959年）	作家蔵
158	国宝火焰型土器	福田美蘭	2024	岡本太郎撮影写真3点（ゼラチン・シルバー・プリント）、カラー写真3点（印画紙にデジタル銀塩プリント）、クッションカバー（ポリエステル）	※4 ※5
159	縄文土器（長野県出土）	岡本太郎	1974	ゼラチン・シルバー・プリント	※6
160	縄文土器（富山県出土）	岡本太郎	1956	ゼラチン・シルバー・プリント	※6
161	縄文土器（山梨県出土）	岡本太郎	1956	ゼラチン・シルバー・プリント	※6
162	重工業	福田美蘭	2024	岡本太郎《重工業》（キャンバス、油彩）、複製画（紙に印刷）	
163	重工業	岡本太郎	1949	キャンバス、油彩	※7
164	日本経済新聞日曜版カット「この人の描いた絵画を思い浮かべて下さい」	福田美蘭	2024	新聞（紙、オフセット印刷）	作家蔵 ※8
165	朝日新聞写真館 since 1904 芸術家の日常	福田美蘭	2024	岡本太郎《坐ることを拒否する椅子》（陶磁）、ガア公を模した置物（ベニヤ、アクリル絵具）、新聞（紙、オフセット印刷）、人工芝	※9
166	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶磁	※10
167	視線	福田美蘭	2024	新聞（紙、オフセット印刷）、プリント（合成紙、インクジェットプリント）	作家蔵 ※4 ※11
168	午後の日	岡本太郎	1967	ブロンズ	

169	太郎の墓	福田美蘭	2024	印画紙にデジタル銀塩プリント、 アクリル絵具	作家蔵 ※4
170	夜	岡本太郎	1947	キャンバス、油彩	
171	夜	福田美蘭	2024	パネル、アクリル絵具	作家蔵
172	太陽の顔・桃太郎 金太郎 浦 島太郎	福田美蘭	2024	陶器、パネルにアクリル絵具	作家蔵
173	森の掟	岡本太郎	1950	キャンバス、油彩	
174	森の掟	福田美蘭	2024	パネル、アクリル絵具	作家蔵
175	眼の絵画	福田美蘭	2024	岡本太郎作品 17 点 (キャンバス、油 彩)、鳥よけバルーン 21 点 (ビニー ル)	
176	マスク	岡本太郎	1985	キャンバス、油彩	※12
177	つら	岡本太郎	1983	キャンバス、油彩	※12
178	散歩	岡本太郎	1980	キャンバス、油彩	※12
179	疾走する眼	岡本太郎	1992	キャンバス、油彩	※12
180	にらめっこ	岡本太郎	1978	キャンバス、油彩	※12
181	顔Ⅳ	岡本太郎	1968	キャンバス、油彩	※12
182	眼の樹	岡本太郎	1978	キャンバス、油彩	※12
183	ひそやかな跳躍	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩	※12
184	手の顔	岡本太郎	1978	キャンバス、油彩	※12
185	眼	岡本太郎	1985	キャンバス、油彩	※12
186	ツラ	岡本太郎	1983	キャンバス、油彩	※12
187	眼の立像	岡本太郎	1981	キャンバス、油彩	※12
188	呼ぶ	岡本太郎	1984	キャンバス、油彩	※12
189	黒い顔	岡本太郎	1982	キャンバス、油彩	※12
190	にらめっこ	岡本太郎	1980	キャンバス、油彩	※12
191	面	岡本太郎	1975	キャンバス、油彩	※12
192	眼と眼	岡本太郎	1992	キャンバス、油彩	※12
193	輪投げ	福田美蘭	2024	岡本太郎《戦士》(繊維強化プラスチ ック)、輪投げの輪 (プラスチック)	
194	戦士	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック	※13
195	邂逅	福田美蘭	2024	ドローイング (トレーシングペーパ ー、鉛筆)、足跡 (カッティングシー ト)	作家蔵
196	邂逅	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック	

197	マスキングプラント ー邂逅のポンプ	浅井裕介	2024	マスキングテープ、油性マジック	作家蔵
198	寝床をミル縄文人	浅井裕介	2024	浅井裕介《命の寝床》(アルミパネルに山梨の土、釉薬、木炭、井戸水、アクリルレジン)、岡本太郎《縄文人》(繊維強化プラスチック)	※14
199	命の寝床 (部分)	浅井裕介	2023	アルミパネルに山梨の土、釉薬、木炭、井戸水、アクリルレジン	作家蔵 ※15
200	縄文人	岡本太郎	1982	繊維強化プラスチック	※15
201	星、飛び散ル (部分)	浅井裕介	2024	アルミパネルに土、アクリルレジン	作家蔵 ※16
202	在処	浅井裕介	2024	アルミパネルにポリ塩化ビニール、土、弁柄、炭、アクリルレジン	作家蔵
203	明日の神話	岡本太郎	1968	キャンバス、油彩	
204	環魂	浅井裕介	2024	木製パネル、土、弁柄、炭、アクリルレジン、ポリスチレンボード	作家蔵
205	残響	浅井裕介	2024	アルミパネルに土、弁柄、炭、アクリル、アクリルレジン	作家蔵
206	大地の色見本ー川崎市内の土	浅井裕介	2024	土、ガラス瓶	
207	大地の色見本ー日本各地の土	浅井裕介	2024	土、ガラス瓶	
208	命の足音ー生田の森	浅井裕介	2024	木製パネル、土、弁柄、炭、アクリルレジン	作家蔵
209	命の足音ー山梨芸術の森	浅井裕介	2023	木製パネルに山梨の土、釉薬、木炭、井戸水、アクリルレジン	個人蔵
210	命の足音ー金津の森	浅井裕介	2024	木製パネルに土、釉薬、木炭、アクリルレジン	作家蔵
211	命の足音	浅井裕介	2019	木製パネルに土、横浜美術館で使用した赤ペンキ、アクリルレジン	作家蔵
212	記念撮影	岡本太郎	1975	キャンバス、油彩	
213	太陽のルデラル	浅井裕介	2024	アルミパネル、土、炭、アクリルレジン	作家蔵 ※17
214	その島にはまだ言葉がありませんでした	浅井裕介	2019-2020	キャンバスに土、墨、横浜美術館で使用した赤ペンキ、アクリル、アクリルレジン	愛知県美術館 ※18
215	訣別	岡本太郎	1973	キャンバス、油彩	
216	星屑の子どもたち	浅井裕介	2024	陶土、土、釉薬、水彩絵の具	作家蔵 ※19

217	星屑の子供	浅井裕介	2021	スタイロフォーム、鹿角、土、針金、作家蔵 麻紐、石粉粘土、陶土、釉薬、 アクリル絵具
218	午後の日	岡本太郎	1967	ブロンズ
219	笑い	岡本太郎	1952	陶磁
220	マリオネット・顔	岡本太郎	1952	陶磁
221	四ツ足	岡本太郎	1956	陶磁
222	雑草	岡本太郎	1956	陶磁
223	顔	岡本太郎	1952	陶磁
224	野生の星	浅井裕介	2019	キャンバスにアクリル、鹿の血、墨 愛知県※20 美術館
225	組み合わせの魔法	浅井裕介	2024	キャンバス、蝦夷鹿の血とレバーか 作家蔵 ※20 ら作られたプルシアンブルー ※21
226	いのちの手触り 1	浅井裕介	2024	屋久鹿の羊皮紙、屋久島の土、炭、作家蔵 ※21 弁柄、アクリル、アクリルレジ
227	いのちの手触り 2	浅井裕介	2024	日本鹿の羊皮紙、蝦夷鹿の血とレバ 作家蔵 ※21 ーから作られたプルシアンブルー
228	頭上の森	浅井裕介	2020	蝦夷鹿の頭骨、鹿角、マスキングテ 作家蔵 ープ、土、アクリル、針金、アクリ ルレジ
229	愛撫	岡本太郎	1964	キャンバス、油彩
230	鹿踊り（岩手）	岡本太郎	1957	ゼラチン・シルバー・プリント
231	鹿踊り（岩手）	岡本太郎	1957	ゼラチン・シルバー・プリント
232	鹿踊り（岩手）	岡本太郎	1957	ゼラチン・シルバー・プリント
233	はじまりのグー	浅井裕介	2024	陶器作品（陶土、土、釉薬） 作家蔵
234	愛	岡本太郎	1961	コンクリート
235	ノン	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
236	こんど会う時にはもっと凶暴 でありますように	浅井裕介	2020	キャンバスに油彩、木炭 作家蔵

*記載の無いものは岡本太郎美術館蔵

※1 「私はいわゆる美術品に興味がない。芸術家でありながら、展覧会に行ったり、画集をひらいて見るなどということはむしろ苦痛だ。……また芸術論とか美術史と称して体系づける空しさ。」

※2 計3点

※3 作品119、120の一部として展示

※4 制作協力：DNP 大日本印刷

※5 展示協力：株式会社フェリシモ「ミュージアム部」、十日町市博物館

※6 作品158の一部として展示

※7 作品162の一部として展示

※8 新聞：『日本経済新聞』2024年9月29日28面（部分）

- ※9 新聞：『朝日新聞』2024年8月9日夕刊5面
- ※10 作品165の一部として展示
- ※11 新聞：『朝日新聞』2023年10月9日6面
- ※12 作品175の一部として展示
- ※13 作品193の一部として展示
- ※14 浅井裕介《命の寢床》うち8枚を使用（山梨県立美術館にて2023年制作）
- ※15 作品198の一部として展示
- ※16 浅井裕介《星、飛び散ル》うち16枚を展示（金津創作の森美術館にて2024年制作）
- ※17 浅井裕介《太陽の一番近くへ》の一部を展示（金津創作の森美術館にて2024年制作）
- ※18 24枚組（F30号）
- ※19 計35点
- ※20 8枚組（F30号）
- ※21 協力：穂苅汐里

「第 28 回岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）」展

会 期	2025 年 2 月 23 日(日)～4 月 13 日(日)
開催日数	43 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
観 覧 料	一般 700 (560) 円、高・大学生・65 歳以上 500 (400) 円、 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	16,420 名
1 日平均	382 名(小数点以下、四捨五入)
図 録	リーフレット A5 (無料配布)
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	24 点
担 当 者	加藤志帆、片岡香、鈴木亜優、細川茉莉香



リーフレット



チラシ



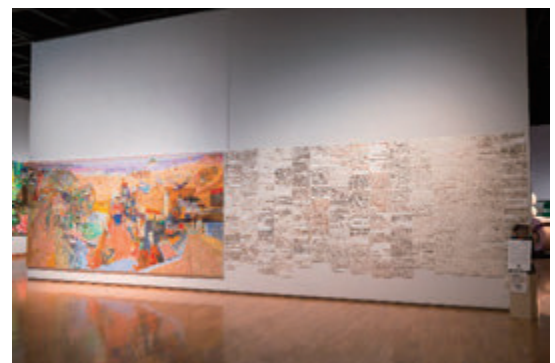
展示風景

■開催趣旨■

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。今年で 28 回目をむかえる本賞では、579 点の応募があり、創造性あふれる 24 組の作家が入選。また最終審査を経て、岡本太郎賞 1 名、岡本敏子賞 1 名、特別賞 1 名が決定しました。

■受賞者■

- 岡本太郎賞 仲村浩一《房総半島勝景奇覧/千葉海岸線砂旅行》
- 岡本敏子賞 齋藤玄輔《語り合う相手としての自然》
- 特 別 賞 井下紗希《森を歩くこと。》



■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

「第28回岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）」『東京新聞』（川崎版）2025年2月23日

「KANAGAWA Muffin」FMヨコハマ2025年3月1日

「イツコム地モトNEWS」イツコムチャンネル2025年3月4日

「第28回岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）」『読売新聞』2025年3月5日

「第28回岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）」『朝日新聞』2025年3月11日

「千葉の海岸にいた25歳が最高賞 TARO 賞、原爆事故関係の作品も」『朝日新聞デジタル』3月11日

松本紗知「第28回岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）」で卒業生が複数名入選 4/13まで展覧会開催 多摩美術大学 2025年3月18日

「第28回岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）」『月刊ギャラリー』2025年4月号

クロッピー前田「TH RECOMMENDATION 第28回岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）」展レポート『TH（ティーエイチ／トーキングヘッズ叢書）』2025年4月号

西澤美子「第28回岡本太郎賞展 岡本太郎賞に中村浩一「房総半島勝景奇覧/千葉海岸線砂旅行」『芸術広場』2025年4月7日

「第28回岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）」『美術の窓』2025年5月号

「第28回岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）岡本太郎賞の仲村さん」『芸術新潮』2025年5月号

■関連事業■

・お気に入りを選ぶ

展示されている24点のTARO賞作品の中から、来館者がお気に入りの作品を選ぶイベントを開催しました。1位の作品をオーディエンス賞とし、3位までにランクインした作家の皆さんに記念品を贈呈しました。受付で配布するカードにつけた赤いシールを、企画展示室出口にある投票ボードに貼って投票していただきました。

日 時 2025年2月23日（日）～3月23日（日）

場 所 ギャラリースペース

投票結果 1位 矢成光生《戦争と平和の印象画》
2位 井下紗希《森を歩くこと。》
3位 山田歩《macrocosmos-microcosmos》

参加人数 4,847名



・お手紙プロジェクト

来館者が第28回TARO賞の入選作家や作品に向けて、自分の思いや感想を手紙に書いてポストに投函しました。書かれた手紙はギャラリーの壁に展示され、作家から返事をもらえることも。来館者と作家が手紙を通じてつながるプロジェクトです。

日 時 2025年2月23日（日）～4月13日（日）

場 所 ギャラリースペース



・リレートーク（全4回）

出品作家によるギャラリートークです。

日 時 ①3月9日（日）②3月23日（日）③3月29日（土）④4月13日（日）

作 家 全23名

①丸山千香子、武藤攝、望月章司、矢成光生、山田歩

②井下紗希、大岩美葉、仲村浩一、増田充高、毛利華子

③神村あづさ、斎藤 翼、陳 昱如、どばしほのか、西野萌黄

④IWACO、黒田恵枝、土田祐加、英ゆう、濱本菜花、前田明日美、山下茜里、齋藤 玄輔

料 金 無料（要観覧料）

参加人数 ①65人 ②52人 ③65人 ④58人

■出品リスト■

No. 作家名／作品名	素材・技法	作品サイズ (cm)
1 仲村 浩一 《房総半島勝景奇覧/千葉海岸線砂旅行》	《房総半島勝景奇覧》キャンバス、アクリル絵具、砂 《千葉海岸線砂旅行》スケッチブック、セロテープ、砂	230 × 486 × 3
2 齋藤玄輔 《語り合う相手としての自然》	カーボン紙、LED ライト	355.5 × 387 × 38 7
3 井下 紗希 《森を歩くこと。》	油彩、キャンバス、パネル、木材、釘、接着剤、ヒー トン、紐	500 × 500 × 500
4 IWACO 《Funky Dragon with Us》	石塑粘土、スタイロフォーム、ワイヤー、着物、帯、 布、ガーゼ、帯締め、グラスアイ、木材、銅管	400 × 400 × 400
5 大岩 美葉 《春の気立つを以って也》	[技法] 木版画 [素材] 塩化ビニールに油彩インク、 木版	415 × 316 × 500
6 神村 あづさ 《静かにそこにいるだけ》	軽量粘土、羊毛、木、樹脂粘土、UV レジン、ガラス、 アクリル絵具、ニス、布	250 × 300 × 250
7 木原 健志郎 《Actors》	キャンバスに油彩	500 × 500 × 500
8 黒田 恵枝 《Story of You》	使われなくなった衣類・靴・手袋・カーテン、壊れた 時計、綿、糸、電動モーター、木材	540 × 120 × 120
9 斎藤 翼 《カメは君のそばに》	ダンボール、木材、版画(リトグラフ・モノタイプ、 木版画)、版画による映像	200 × 270 × 420
10 陳 昱如 《裏返った眼から》	テラコッタ、岩絵具	500 × 500 × 500
11 土田 祐加 《ぬちぐすい》	新聞紙、木工ボンド、福木で染めた紙、さとうきび染 め、月桃染め、ガジュマル染め、石膏、わた、蜜蝋	500 × 500 × 500
12 どばしほのか 《生えてきたつくりごと》	キャンバスに油彩、クレヨン、木炭、布、綿、糸、鉄	300 × 500 × 400
13 西野 萌黄 《六道輪廻 地獄道》	ターポリン、スプレー、暗幕、ミクストメディア	540 × 500 × 500
14 英 ゆう 《嵐のあとの庭で子を導こうとする母 親の歩みと生命の循環の煌めき、また は様々な次元の交感が巡るところ》	麻キャンバスにグアッシュ、顔彩、岩絵具、胡粉、ア クリル、墨、額	185 × 450 × 91
15 濱本 菜花 《苦しみの先へゆけ》	絹、酸性染料	450 × 325.5 × 2
16 前田明日美 《ささやきの棲処》	ミクストメディア	400 × 140 × 300

17 増田 充高	樟、木材	225×135×450
《HEART BEAT ―knuckle head―》		
18 丸山 千香子	羊毛フェルト、発泡スチロール、スチール、ワイヤー、ポリウレタン、布、ビニル樹脂	500×500×400
《顔が産みだす顔》		
19 武藤 攝	油彩、板	240×480×0.12
《華の舞》		
20 毛利 華子	油絵具、アクリル、パステル、ペン、水干絵の具、キャンパス、紙、木材、写真、浴槽、スマートフォン、プロジェクター	500×500×500
《わたしたちの浴室》		
21 望月 章司	木、鉄、銅、セメント、布、発泡スチロール、磁石、写真	300×400×400
《家族》		
22 矢成 光生	パネルにカシュー、油彩	162×500
《戦争と平和の印象画》		
23 山下 茜里	綿布、反応染料、わた、木材、気泡緩衝材、針金	500×500×500
《Long for the Light》		
24 山田 歩	樟	230×200×180
《macrocosmos-microcosmos》		

2. 常設展

「前衛たちの足跡 岡本太郎とその時代」展

会 期 2024年4月18日（土）～7月7日（日）
 開催日数 70日
 観 覧 料 一般 500(400)円、高大学生・65歳以上 300(240)円、中学生以下無料
 ※カッコ内は20名以上の団体料金
 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
 出品点数 144点
 担 当 者 佐藤玲子



ポスター

■開催趣旨■

岡本太郎は、18歳の時に東京美術学校（現・東京芸術大学）を中退し、両親の渡欧についてパリに渡りました。20代を過ごしたパリでは、現地で抽象芸術グループ「アブストラクション・クレアション」に最年少で加わり、バタイユの主宰する「アセファル」にも参加するなど、先鋭的な芸術や思想的なグループで交流を深めます。

帰国後の兵役を経て、戦後の東京で前衛芸術運動を展開する皮切りとなった「夜の会」は、花田清輝ら文学者たちとの活動です。ここからさまざまな芸術運動が生まれ、作家たちが集う場となりました。岡本太郎はジャンルを横断する自由闊達な活躍で、生涯弟子などを取らず、群れることを嫌った孤高のアーティストという横顔もありますが、それぞれの時代をみていくと多くの芸術家や作家、思想家から触発され、そうした仲間たちとの交流や繋がりの中で、作品が生まれてきた側面もまた強かったことが作品や資料から読み取れます。

本展は、当館コレクションの中から、岡本太郎作品とともに、彼と交流のあった同時代の作家たちの活動の一端をご紹介します。展示の機会となりました。また、交流の深かった芥川（間所）紗織の作品を展示することで、芥川（間所）紗織生誕100年記念のプロジェクト「Museum to Museums」への参加協力も行いました。

■関連イベント■

・担当学芸員によるワンポイントトーク

日 時 2024年6月22日（土）14:00～14:30
 場 所 常設展示室
 参加人数 67名

■出品リスト■

No.	作品名	作者	制作年	材質・技法等
1	手一赤	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
2	手一青	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
3	コンポジション	ハンス・アルプ	1973	シルクスクリーン、紙
4	抽象	フランティシェク・クプカ	1973	シルクスクリーン、紙
5	二本の渦巻と楕円の窓	ファウスト・メロッティ	1973	リトグラフ、紙
6	リズム―色彩 No.816	ソニア・ドローネー＝テルク	1973	シルクスクリーン、紙
7	コンポジションD	ピート・モンドリアン	1973	シルクスクリーン、紙

8	構成	ラースロー・モホリ＝ナギ	1973	シルクスクリーン、紙
9	二つの部分からなる構成	マックス・ビル	1973	シルクスクリーン、紙
10	幾何学的リズム	マウロ・レッジアーニ	1973	シルクスクリーン、紙
11	灰色の絵画	ポール・ヴェズレー	1973	シルクスクリーン、紙
12	グラフィスム	テオ・ケルグ	1973	シルクスクリーン、紙
13	宇宙の誕生	アントワヌ・ペヴスナー	1973	シルクスクリーン、紙
14	コンポジション	ヴァシリー・カンディンスキー	1973	シルクスクリーン、紙
15	空間	岡本太郎	1934/1954	油彩、キャンバス
16	空間Ⅱ	岡本太郎	1934 (消失作品)	パネル
17	空間Ⅲ	岡本太郎	1934 (消失作品)	パネル
18	コンポジション	ルイージ・ヴェロネージ	1973	シルクスクリーン、紙
19	コンポジション	テオ・ファン・ドゥースブルフ	1973	シルクスクリーン、紙
20	ユニズム・コンポジション	ヴワディスワフ・スツシェ	1973	シルクスクリーン、紙
21	抽象的絵画Ⅱ	ヘンリック・スタージェフスキ	1973	シルクスクリーン、紙
22	コンポジション	アレクサンダー・コールダー	1973	リトグラフ、紙
23	$Y=-X^2+bx+c$ 赤・緑	ジョルジュ・ファントンゲルロー	1973	シルクスクリーン、紙
24	渦巻	ハンス・エルニ	1973	シルクスクリーン、紙
25	コンポジション	ジェラルド・ヴェリアミ	1973	リトグラフ、紙
26	太公望 《紋章の放浪》	クルト・セリグマン	1933-34	エッチング、紙
27	被手術者 《紋章の放浪》	クルト・セリグマン	1933-34	エッチング、紙
28	魔女 《紋章の放浪》	クルト・セリグマン	1933-34	エッチング、紙
29	捕鳥者 《紋章の放浪》	クルト・セリグマン	1933-34	エッチング、紙
30	夫 《紋章の放浪》	クルト・セリグマン	1933-34	エッチング、紙
31	ガスメートル調べ人 《紋章の放浪》	クルト・セリグマン	1933-34	エッチング、紙
32	失題	下郷羊雄	1942 年頃	油彩、板
33	偶成	下郷羊雄	1976	油彩、キャンバス
34	起きいでて窓をひらけば	岡本かの子	不明	紙、墨
35	老妓抄 川	著:岡本かの子 装丁:岡本太郎	1986	

36	廿七大家漫画 最近三十年史 図絵	岡本一平ほか	1927	紙、墨、絵具
37	坂崎坦宛書簡	岡本一平	1936	紙、墨
38	女体開頭	著:岡本かの子 装丁:岡本太郎	1943	書籍
39	ブラッサイ	岡本太郎	1952	ゼラチン・シルバー・プリント
40	人類学博物館	岡本太郎	1952	ゼラチン・シルバー・プリント
41	歌うたいの乞食	岡本太郎	1952	ゼラチン・シルバー・プリント
42	ミロ、ヘイターと	撮影者未詳	1952	ゼラチン・シルバー・プリント
43	ガス燈掃除	岡本太郎	1952	ゼラチン・シルバー・プリント
44	ル・コルビュジエ アパートの 幼稚園にて	岡本太郎	1952	ゼラチン・シルバー・プリント
45	無題	岡本太郎	1952	ゼラチン・シルバー・プリント
46	パリ風景	岡本太郎	1952	ゼラチン・シルバー・プリント
47	ジャコメッティ	岡本太郎	1952	ゼラチン・シルバー・プリント
48	ジャコメッティのアトリエ	岡本太郎	1952	ゼラチン・シルバー・プリント
49	ジャコメッティのアトリエ	岡本太郎	1952	ゼラチン・シルバー・プリント
50	無題	岡本太郎	1952	ゼラチン・シルバー・プリント
51	シーラカンス	北代省三	1953/1990	鉄、真鍮、塗装
52	少女と太陽	北代省三	1948/1989	油彩、キャンバス
53	白昼夢	北代省三	1948/1989	油彩、キャンバス
54	空中都市	北代省三	1952	油彩、カルトン
55	永久運動	北代省三	1951	油彩、カルトン
56	無題	福島秀子	1951	水彩、紙
57	無題	福島秀子	1951	水彩、インク、紙
58	無題	福島秀子	1951	水彩、パステル、紙
59	無題	山口勝弘	1950 年頃	油彩、クレパス、紙
60	無題	山口勝弘	1950 年頃	水彩、クレパス、紙
61	無題	山口勝弘	1949	水彩、クレパス グアッシュ、ペン、紙
62	夜	岡本 太郎	1947	油彩、キャンバス
63	化け物の系譜シリーズ 「ゴム族」	池田龍雄	1950 年代	紙、インク
64	化け物の系譜シリーズ 「ゆりかご」	池田龍雄	1956	インク、鉛筆 水彩、紙
65	山の男	勅使河原宏	1952	油彩、キャンバス
66	子供の時間	岡本太郎	1975	繊維強化プラスチック

67	黒い太陽	岡本太郎	1949	油彩、キャンバス
68	作家	岡本太郎	1948	油彩、キャンバス
69	重工業	岡本太郎	1949	油彩、キャンバス
70	二人	岡本太郎	1948	油彩、キャンバス
71	美女と野獣	岡本太郎	1949	油彩、キャンバス
72	まひるの顔	岡本太郎	1948	油彩、キャンバス
73	建設	岡本太郎	1956	油彩、キャンバス
74	海辺	岡本太郎	1954	油彩、キャンバス
75	「第2期現代芸術講座」ポスター	-	1955	印刷物
76	春	岡本太郎	1947	紙、鉛筆、インク、墨
77	ふたり	岡本太郎	1962	油彩、紙
78	女	岡本太郎	1962	油彩、紙
79	遊ぶ子	岡本太郎	1962	油彩、紙
80	青い顔	岡本太郎	1962	油彩、紙
81	太陽の塔	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
82	鼻〈百仮面シリーズ〉	池田龍雄	1960	水彩、インク 鉛筆、紙
83	倉庫	池田龍雄	1956	水彩、紙、インク
84	顔	芥川（間所）紗織	1954	油彩、キャンバス
85	津軽・鰯街道五拾壺紅点行列 圖	村上善男		ミクストメディア
86	二つの顔	岡本太郎	1957	油彩、キャンバス
87	青空	岡本太郎	1954	油彩、キャンバス
88	動物	岡本太郎	1959	コンクリート
89	マスク	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
90	躍進	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
91	天に舞う	岡本太郎	1974	繊維強化プラスチック
92	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶磁
93	手の椅子	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック
94	駄々っ子	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
95	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐、金属
96	呼ぶB	岡本太郎	1990	繊維強化プラスチック
97	こどもの樹	岡本太郎	1985	繊維強化プラスチック
98	若い太陽の塔	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
99	呼ぶA	岡本太郎	1990	繊維強化プラスチック

100	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミ、コンクリート 金属、ライト
101	樹人	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチックなかに 石膏
102	梵鐘・歓喜	岡本太郎	1965	ブロンズ
103	赤い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
104	青い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
105	黒い顔	岡本太郎	1968	繊維強化プラスチック
106	河童像	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
107	花びらの椅子	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
108	まどろみ	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック、 布、金属
109	顔の椅子	岡本太郎	1953	木
110	ほおずえ	岡本太郎	1968	繊維強化プラスチック、 布、金属
111	樹人	岡本太郎	1951	油彩、キャンバス
112	歩く人	岡本太郎	1952	油彩、キャンバス
113	喫煙者	岡本太郎	1951	油彩、キャンバス
114	無口	岡本太郎	1967	陶磁
115	踊り	岡本太郎	1982	陶磁
116	ひらく肖像	岡本太郎	1982	陶磁
117	むすめ	岡本太郎	1967	陶磁
118	歩み	岡本太郎	1967	陶磁
119	太郎の手の時計	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
120	瑞鳥	岡本太郎	1987	繊維強化プラスチック
121	夢の鳥	岡本太郎	1977	陶磁
122	顔	岡本太郎	1978	皮
123	太陽	岡本太郎	1965	プラスチック
124	午後の日	岡本太郎	1967	ブロンズ
125	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス
126	顔のプレート	岡本太郎	1976	ガラス
127	未来を拓く	岡本太郎	1967	ブロンズ
128	男の子	岡本太郎	不明	陶磁
129	女の子	岡本太郎	不明	陶磁
130	あし	岡本太郎	1978	ガラス
131	日中テレビ祭 日本代表団メダル	岡本太郎	1984	アルミ

132	国際眼科学会メダル	岡本太郎	1978	ブロンズ
133	フランス造幣局メダル	岡本太郎	1986	銀、金メッキ
134	国鉄民営化記念 オリジナルメダル《出発》	岡本太郎	1987	銀
135	トランプ	岡本太郎	不明	紙
136	手の椅子	岡本太郎	1970	プラスチック
137	日本海博覧会	岡本太郎	1973	銀
138	不明	岡本太郎	不明	金属
139	太陽の顔	岡本太郎	1970	金属
140	花ひらく	岡本太郎	1977	陶磁
141	顔	岡本太郎	1952	陶磁
142	爆発	岡本太郎	1981	陶磁
143	ほほえみ	岡本太郎	1986	陶磁
144	動物	岡本太郎	1956	ブロンズ

「目もあやなオバケ王国 岡本太郎のオバケ論」展

会 期 2024年7月12日（金）～10月6日（日）
開催日数 75日
観 覧 料 一般500(400)円、高大学生・65歳以上300(240)円、中学生以下無料
※カッコ内は20名以上の団体料金
※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります。
出品点数 111点
担 当 者 細川茉莉香、片岡香



ポスター・チラシ

■開催趣旨■

オバケの姿は日本人の自由な発想力が源であると考え、日本文化としてのオバケに関心を抱いていた岡本太郎。オバケの存在証明はナンセンスであり、彼らは人間が社会の抑圧に負けない心として表われ、人間から切り離せない影のような存在だと考えていました。人間の身分に構わずいたずらをしかけ笑い飛ばすオバケ。これを日本人の誇り得るものの一つであると、岡本は述べています。

岡本の作品には人間の内にある真の姿として、オバケのようなキャラクターがたびたび現れます。岡本の冷静かつ無邪気な目線から表現された世界では、ほとんど妖怪に近い姿をなした生き物が駆け回り、生を哄笑します。

本展では岡本が語るオバケの存在に焦点をあて、オバケ同様に既存の体制に抗いながらも愛嬌ある作品を生み出し続けた岡本の、少し怖い絵から、おなじみの愉快的な彫刻、収集品など、岡本が作り出した鮮やかなオバケ王国をご覧ください。

■関連イベント■

・担当学芸員によるワンポイントトーク

日 時 2024年①9月8日（日）、②9月16日（月祝）各日14:00～14:30
場 所 常設展示室
参加人数 ①26名、②40名

■出品リスト■

No.	作品名	作者	制作年	材質・技法等
1 章 岡本太郎とオバケ				
1	千手	岡本太郎	1975	アルミニウム
2	霊視	岡本太郎	1992	油彩、キャンバス
3	夜	岡本太郎	1947	油彩、キャンバス
4	未来を見た	岡本太郎	1971	油彩、キャンバス
5	高野山 和歌山	岡本太郎	1955/8/8	ゼラチン・シルバー・プリント
6	鹿踊り 岩手	岡本太郎	1957/6/16	ゼラチン・シルバー・プリント
7	鹿踊り 岩手	岡本太郎	1957/6/16	ゼラチン・シルバー・プリント
8	土偶 宮城県出土	岡本太郎	1956/3/23	ゼラチン・シルバー・プリント
9	変身	岡本太郎	1962	油彩、キャンバス
10	遭遇	岡本太郎	1981	油彩、キャンバス
11	『日本妖怪変化史』	江馬務	1923	中外出版
12	石と樹 II	岡本太郎	1983	油彩、キャンバス

13	獵師	岡本一平	不明	紙、墨、絵具
14	虎	岡本太郎	1986	紙、墨、絵具
15	龍	岡本太郎	1988	紙、墨、絵具
16	ひととせのはてなるいこひ	岡本かの子	不明	紙、墨
17	楠正成 市川左團次	岡本一平	1926	紙、絵具、木版
18	漫画漫文 夏秋合戦	岡本一平	1926	朝日新聞社
19	破れ壁や達磨を覗く	岡本一平	不明	紙、墨、絵具
20	第十二回創作舞踊 作品公演 鬼婆	岡本太郎	1977	ポスター
21	なまはげ 秋田	岡本太郎	1957/02/12	ゼラチン・シルバー・プリント
22	浦上天主堂跡 屋根についてた唐獅子 長崎	岡本太郎	1957/3/8	ゼラチン・シルバー・プリント
23	鬼剣舞（二子村） 岩手	岡本太郎	1957/6/16	ゼラチン・シルバー・プリント
24	川平の獅子舞 沖縄	岡本太郎	1959/11/27	ゼラチン・シルバー・プリント
25	井戸 沖縄	岡本太郎	1959/11/29	ゼラチン・シルバー・プリント
26	ガジュマルの古木 沖縄	岡本太郎	1959/11/29	ゼラチン・シルバー・プリント
27	兜跋毘沙門天立像 福岡	岡本太郎	1957/3/5	ゼラチン・シルバー・プリント
28	狛犬・阿形 福岡	岡本太郎	1957/3/5	ゼラチン・シルバー・プリント
29	狛犬・阿形 福岡	岡本太郎	1957/3/5	ゼラチン・シルバー・プリント
30	兜跋毘沙門天立像 福岡	岡本太郎	1957/3/5	ゼラチン・シルバー・プリント
2章 日本文化におけるオバケ				
31	訣別	岡本太郎	1973	油彩、キャンバス
32	にらめっこ	岡本太郎	1980	油彩、キャンバス
33	赤い顔	岡本太郎	1979	油彩、キャンバス
34	夜の会合	岡本太郎	1973	油彩、キャンバス
35	頭でっかち	岡本太郎	1989	油彩、キャンバス
36	哄笑	岡本太郎	1986	ガラス
37	スツール	岡本太郎	1967	アルミニウム、布
岡本太郎収集品				
38	ボンボコ狸 香川	不明	不明	木、紐
39	こけし 宮城	不明	1960	木（ミズキか、イタチカエデ）
40	こけし 福島	不明	1961	木（ミズキか、イタチカエデ）
41	こけし 山形	不明	1967	木（ミズキか、イタチカエデ）
42	こけし 山形	不明	1968	木（ミズキか、イタチカエデ）
43	こけし 宮城	不明	不明	木（ミズキか、イタチカエデ）
44	不明	不明	不明	木
45	麒麟獅子	不明	不明	紙
46	狛犬	不明	不明	紙

47	木でこ 大分	不明	不明	木
48	木でこ 大分	不明	不明	木
49	阿波首でこ 徳島	不明	不明	土、木
3章 見つめるオバケ				
50	顔 IV	岡本太郎	1968	油彩、キャンバス
51	眼の立像	岡本太郎	1981	油彩、キャンバス
52	つら	岡本太郎	1983	油彩、キャンバス
53	眼の樹	岡本太郎	1978	油彩、キャンバス
54	マスク	岡本太郎	1985	油彩、キャンバス
55	エクセホモ	岡本太郎	1963	油彩、キャンバス
56	手の顔	岡本太郎	1978	油彩、キャンバス
57	黒い顔	岡本太郎	1975	リトグラフ
58	春	岡本太郎	1947	鉛筆、インク、墨、紙
59	挑み	岡本太郎	1988	リトグラフ、油彩
60	具現	岡本太郎	1974	シルクスクリーン
61	呼ぶ	岡本太郎	1988	リトグラフ、油彩
62	太陽の塔	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
4章 目もあやな人間王国				
63	千手	岡本太郎	1965	油彩、キャンバス
64	疾走する眼	岡本太郎	1992	油彩、キャンバス
65	森の掟	岡本太郎	1950	油彩、キャンバス
66	駄々っ子	岡本太郎	1951	油彩、キャンバス
67	動物	岡本太郎	1959	コンクリート
68	みつめあう愛	岡本太郎	1990	繊維強化プラスチック
69	天に舞う	岡本太郎	1974	繊維強化プラスチック
70	河童像	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
71	マスク	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック、紐
72	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶磁
73	駄々っ子	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
74	手の椅子	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック
75	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
76	光る彫刻	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック
77	ゆったり	岡本太郎	1956	木、布
78	マミ会館	岡本太郎	1968	繊維強化プラスチック
79	流れる夢	岡本太郎	1975	リトグラフ
80	眼と眼	岡本太郎	1983	エッチング
81	反世界	岡本太郎	1964	紙、墨

82	河童像	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
83	手一赤	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
84	黒い顔	岡本太郎	1968	繊維強化プラスチック
85	手一青	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
86	梵鐘・歓喜	岡本太郎	1965	ブロンズ
87	燃える手	岡本太郎	1965	蠟
88	樹人	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック
89	樹霊 II	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック
90	ノン	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
91	祭り	岡本太郎	1985	繊維強化プラスチック
92	犬の植木鉢	岡本太郎	1955	陶磁
93	午後の日	岡本太郎	1967	陶磁
94	赤い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
95	青い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
96	樹霊 I	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
97	山姥	岡本太郎	1980	陶磁
98	歩み	岡本太郎	1967	陶磁
99	踊り	岡本太郎	1982	陶磁
100	顔の大壺	岡本太郎	1987	陶磁
101	無口	岡本太郎	1967	陶磁

「私の現代芸術—コンペイ党宣言」展

会 期	2025年1月18日（土）～4月13日（日）
開催日数	75日
観 覧 料	一般 500(400)円、高大学生・65歳以上 300(240)円、中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	95点
担 当 者	佐藤玲子、細川茉莉香



ポスター・チラシ

■開催趣旨■

1961年、岡本太郎は戦後から自らの作品発表のベースとしていた二科会を脱退します。戦後から1950年代にかけて、仲間とおこした前衛芸術運動は長くは続かず、二科会内での改革も横やりが入り、歩調を合わせた運動にさえ迷いをもった時期でもありました。自身の作品発表や作風、スタイルも大きく変化した60年代、『私の現代芸術』はそんな岡本太郎の転換期に刊行された著作でした。

「コンペイ糖のようにトンがって、すでにでき上がった自分自身とぎりぎりに対決する。その緊張が仕事を支えるのである。」岡本太郎らしい逆説的な物言いは、この時期に団体や協働をいったん離れ、ひとり立ち向かう覚悟を決めた岡本の態度表明のようにも見えます。

「ふっと、まるくなりそうな危険を感じた時、仕事場の壁に貼りつけた、ギザギザのコンペイ糖をにらんで、いよいよ純粋にやりきること、妥協しないこと、そして防禦服を着ないで、常に生身のままで社会の現実にあぶつかってゆく決意を新たにすべきだと思うのだ。」本展では、同書からピックアップした岡本の言葉をモニターやプロジェクターで投影し、作品とあわせて鑑賞できるように工夫も行いました。

■関連イベント■

・担当学芸員によるワンポイントトーク

日 時	2025年3月8日（土）14:00～14:30
場 所	常設展示室
参加人数	37名

■出品リスト■

No.	作品名	作者	制作年	材質・技法等
1	縄文人	岡本太郎	1982	繊維強化プラスチック
2	アドレッサン	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩
3	マスク	岡本太郎	1959	キャンバス、油彩
4	哄笑	岡本太郎	1986	ガラス
5	光る彫刻	岡本太郎	2024/1967	繊維強化プラスチック、 ライト
6	夜	岡本太郎	1947	キャンバス、油彩
7	重工業	岡本太郎	1949	キャンバス、油彩
8	青空	岡本太郎	1954	キャンバス、油彩

9	ひな人形飾	岡本一平	不明	絹、墨、絵具
10	漫画色紙	岡本一平	不明	紙、墨、鉛筆
11	私の現代芸術	岡本太郎	1963 年	書籍
12	観音経	岡本かの子	不明	紙
13	老妓抄 川	著：岡本かの子/ 装丁：岡本太郎	1986	紙
14	白梅	岡本かの子	1929 年以降	絹、墨
15	コンポジション	岡本太郎	1958	紙、絵具（リトグラフ）
16	風	岡本太郎	1965	紙、絵具（リトグラフ）
17	花ひらく	岡本太郎	1958	紙、絵具（リトグラフ）
18	黒い生き物	岡本太郎	1962	紙、絵具（リトグラフ）
19	歓喜	岡本太郎	1962	紙、絵具（木版）
20	めぐりあい	岡本太郎	1966	紙、絵具（木版）
21	ブロムナード	岡本太郎	1965	紙、絵具（木版）
22	太陽	岡本太郎	1970	紙、絵具（木版）
23	歓喜	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩
24	顔Ⅵ	岡本太郎	1970	キャンバス、油彩
25	飛ぶ眼	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩
26	具現	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩
27	眼と眼—コミュニケーション	岡本太郎	1980	繊維強化プラスチック
28	跳ぶ	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩
29	予感	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩
30	風神	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩
31	赤のアイコン	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩
32	装える戦士	岡本太郎	1962	キャンバス、油彩
33	顔Ⅲ	岡本太郎	1968	キャンバス、油彩
34	ノン	岡本太郎	1962	紙、油彩
35	太陽の塔	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
36	千手	岡本太郎	1965	キャンバス、油彩
37	天空に我あり	岡本太郎	1967	キャンバス、油彩
38	赤い顔	岡本太郎	1979	キャンバス、油彩
39	眼の立像	岡本太郎	1981	キャンバス、油彩
40	動物	岡本太郎	1959	コンクリート
41	若い太陽の顔	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
42	光る彫刻	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック、ライト
43	光る彫刻	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック、ライト
44	マスク	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック

45	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶磁
46	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
47	駄々っ子	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
48	手の椅子	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック
49	躍進	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
50	天に舞う	岡本太郎	1974	繊維強化プラスチック
51	犬の植木鉢	岡本太郎	1955	陶磁
52	愛	岡本太郎	1961	繊維強化プラスチック
53	誇り	岡本太郎	1962	繊維強化プラスチック
54	まひるの生物	岡本太郎	1962	キャンバス、油彩
55	哄笑	岡本太郎	1972	キャンバス、油彩
56	梵鐘・歓喜	岡本太郎	1965	ブロンズ
57	太陽	岡本太郎	1985	繊維強化プラスチック
58	戦士	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック
59	若い太陽の塔	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
60	夢の樹	岡本太郎	1983	繊維強化プラスチック
61	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミ、コンクリート、金属、ライト
62	河童像	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
63	赤い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
64	青い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
65	ひらく肖像	岡本太郎	1982	陶
66	踊り	岡本太郎	1982	陶
67	飛翔	岡本太郎	1977	陶磁
68	歓喜	岡本太郎	1977	陶磁
69	渾沌	岡本太郎	1979	陶磁
70	れんげ大鉢	岡本太郎	1984	陶磁
71	午後の日	岡本太郎	1967	ブロンズ
72	顔のプレート	岡本太郎	1976	ガラス
73	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス
74	未来を拓く	岡本太郎	1967	ブロンズ
74	男の子	岡本太郎	不明	陶磁
76	女の子	岡本太郎	不明	陶磁
77	あし	岡本太郎	1978	ガラス
78	瑞鳥	岡本太郎	1987	繊維強化プラスチック
79	太郎の手の時計	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
80	夢の鳥	岡本太郎	1977	陶磁
81	顔	岡本太郎	1978	革

82	日中テレビ祭 日本代表団メダル	岡本太郎	1984	アルミ
83	国際眼科学会メダル	岡本太郎	1978	ブロンズ
84	フランス造幣局メダル	岡本太郎	1986	銀、金メッキ
85	国鉄民営化記念 オリジナルメダル《出発》	岡本太郎	1987	銀
86	トランプ	岡本太郎	1977	紙
87	手の椅子	岡本太郎	1970	プラスチック
88	日本海博覧会	岡本太郎	1973	銀
89	作品名不詳	岡本太郎	不明	金属
90	太陽の顔	岡本太郎	1970	金属
91	花ひらく	岡本太郎	1977	陶磁
92	顔	岡本太郎	1977	陶磁
93	爆発	岡本太郎	1981	陶磁
94	ほほえみ	岡本太郎	1986	陶磁
95	動物	岡本太郎	1956	ブロンズ

3. 収集・保存・貸出

収集作品及び資料（購入）

作者名	作品名	購入元	摘要
福田美蘭	《森の掟》2024 年 パネル、アクリル絵具	作家	1 点

収集作品及び資料（寄贈）

作者名	作品名	摘要
岡本太郎他	岡本太郎作品および関係資料一式 (インダストリアルデザイン 36 点、書籍 15 点、写真 59 点ほか)	1 式
福田美蘭	開館 25 周年記念展出品作品等一式 (16 点) ・《7 歳のときの落書き》1970 年、紙・色鉛筆 ・《太陽の塔のスタンプ》2024 年、ゴム・鉄・プラスチック ・《黒い太陽》2024 年、書籍 (岡本太郎『黒い太陽』美術出版社、1959 年) ・《国宝火焰型土器》2024 年、カラー写真 3 点・クッションカバー ・《重工業》2024 年、複製画 (紙に印刷、鉛筆) ・《日本経済新聞 2024 年 9 月 29 日》2024 年、新聞 (紙、オフセット印刷) ・《日本経済新聞日曜版カット「この人の描いた絵画を思い浮かべて下さい」》2024 年、トレーシングペーパー・画用紙・鉛筆・アクリル絵具 ・《朝日新聞写真館 since 1904 芸術家の日常》2024 年 ・《視線》2024 年、新聞 (紙、オフセット印刷)・プリント (合成紙、インクジェットプリント) ・《太郎の墓》2024 年、印画紙にデジタル銀塩プリント・アクリル絵具 ・《夜》2024 年、パネル・アクリル絵具 ・《太陽の顔・桃太郎 金太郎 浦島太郎》2024 年、陶器・パネルにアクリル絵具 ・《眼の絵画》2024 年、鳥よけバルーン 21 点 (ビニール) ・《輪投げ》2024 年、輪投げの輪 160 本 (プラスチック) ・《邂逅》2024 年、ドローイング 21 点 (トレーシングペーパー、鉛筆)・足跡 (カッティングシート) ・《朝日新聞 2024 年 11 月 19 日》2024 年、新聞 (紙、オフセット印刷)	1 式

作品修復

作品名	作者名	制作年	分類	作品番号	修復内容	修復者
変身	岡本太郎	1962	油彩	1000040	既存の額縁をはずし、新たな額装を行った。	有限会社 メセナ
めざめ	岡本太郎	1980	油彩	1000100		
霊視	岡本太郎	1992	油彩	1000076		

太陽の鐘	岡本太郎	1966	FRP	2S00017	洗浄、汚れ除去、加筆部除去、亀裂部接着、擦傷部補修、欠損部充填、充填部・変色部補彩、艶調整	有限会社 吉村美術 研究所
母の塔	岡本太郎	1999	シンボル タワー		人形固定部調査(塔内部から及び外側からの調査)、塔内部現状調査、漏水点検	有限会社 ブロンズ スタジオ

貸出作品及び資料

本年度貸出作品：6 件、140 点

作品名	作家名	制作年	分類	展覧会名／会期・会場
『OKAMOTO』	岡本太郎	1937	書籍	「日本が見たドニ ドニの見た日本」展 2024 年 8 月 27 日～10 月 20 日：新潟県立近代美術館 2024 年 11 月 2 日～2025 年 1 月 13 日：久留米市美術館
『生々流転』	岡本かの子	1940	書籍	
双子座	岡本太郎	1974	油彩	「おしゃべり美術館 ひらびあ一つまねれ 10 年記念」展 2024 年 9 月 21 日～2025 年 2 月 16 日 平塚市美術館
顔	岡本太郎	1952	彫刻	「ハニワと土偶の近代」展 2024 年 10 月 1 日～12 月 22 日 東京国立近代美術館
「月に憑かれたピエロ」の ための仮面スケッチ	北代省三	1955	水彩他	
黒い太陽—岡本太郎に捧 ぐ	山口勝弘	1996	インス タレー ション	環境芸術学会 企画展「つながりと発見」展 2024 年 12 月 8 日～12 月 15 日 水戸市市民会館
建設	岡本太郎	1956	油彩	「メキシコへのまなざし」展 2025 年 2 月 1 日～5 月 18 日 埼玉県立近代美術館
赤	岡本太郎	1961	油彩	
訣別	岡本太郎	1973	油彩	
訣別（ドローイング 5 点）	岡本太郎	1967	ドロー イング	
月の顔	岡本太郎	1956	FRP	
顔	芥川（間所） 紗織	1954	油彩	
岡本太郎撮影写真 14 点	岡本太郎		写真	
岡本太郎旧蔵メキシコ民 芸品 2 点	不明	不明	資料	
記念撮影	岡本太郎	1975	油彩	「生誕 100 年中村正義—その熱と渦—」展 2025 年 2 月 22 日～3 月 30 日：豊橋市美術博物館 2025 年 4 月 12 日～5 月 18 日：平塚市美術館 2025 年 5 月 31 日～7 月 6 日：奈良県立美術館

4. クラウドファンディング

「岡本太郎」芸術をすべての方へ―視覚に障害のある方にも「アート体験」を一

寄附期間 2024年4月2日（火）～6月30日（日）（90日間）

寄附金額 1,279,000円（当初目標額 1,200,000円）

寄附者数 76名

■実施内容■

本市が推進する『アート・フォー・オール』（誰もが文化芸術に身近に触れ、参加できる環境づくり）の実現に向け、視覚に障害のある方を対象とした取組を実施するため、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス GCF®」を活用して寄附を募りました。集まった寄附金を活用し、視覚に障害のある方々が、安心して岡本太郎美術館を訪れ、太郎作品に親しむ機会を提供することを目的として、以下の3つの取組を行いました。

・「美術館案内パンフレット」の作成

点字・触知図を利用した案内用パンフレットを300部作成し配布しました。

配布先 近隣の盲学校、川崎市視覚障害者情報文化センター 他 *美術館にて希望者に配布しました。

・「太郎作品紹介カード」の作成

立体的に印刷できるプリンタを購入し、常設展に出展される岡本太郎作品から5作品を選び紹介するカードを作成。点訳ソフトを用い解説文を作成し、紹介カードと併せてファイリングしたものを希望者に貸出しました。

・専用機器による鑑賞体験イベント「みんな生き生き TARO アート鑑賞」開催

内容 視覚支援デバイス「レティッサ オン ハンド」を使った、ロービジョンの方（見えにくさがあり生活上の不自由さを感じる方）向けの鑑賞プログラムを実施しました。（協力：株式会社 QD レーザ）

日時 11月9日（土）①10:30～12:00 ②13:30～15:00

参加人数 ①4組 11名 ②2組 4名



ふるさと納税サイト内でのカバー画像



美術館案内パンフレット



太郎作品紹介カード



イベントの様子

○寄附者特典

寄附者特典として寄附者全員にお礼状の送付、1万円以上寄附をいただいた方には特別内覧会への招待、また、3万円以上寄附をいただいた方には、特別内覧会への招待に加え特別バックヤードツアーの参加特典を付けました。

・お礼状の送付

・特別内覧会

日時 2024年10月11日（金）15:15～

参加人数 25名



お礼状（ポストカード裏面）

・特別バックヤードツアー

日 時 ①2024年11月30日(土) ②2025年3月8日(土) 16:30～18:30

参加人数 ①4組7名 ②4組7名



特別バックヤードツアーの様子

5. 情報・刊行物

刊行物名	サイズ	内容	発行部数
川崎市岡本太郎美術館ニュース 「TARO」 MUSEUM NEWS Vol. 86、87、88、89	21×13.5 (cm) 三つ折	<ul style="list-style-type: none"> 企画展案内 常設展案内 イベント報告 美術館カレンダー 美術館利用案内 	24,000 部 (各 6000 部発行)
2023－2025 川崎市岡本太郎美術館教育普及記録集	A5 版	<ul style="list-style-type: none"> 教育普及事業の記録 	300 部
令和5年度 川崎市岡本太郎美術館年報 当館ホームページにて、PDF 版の閲覧が可能 https://www.taromuseum.jp/report.html	A4 版	<ul style="list-style-type: none"> 事業報告 (企画展・常設展・共催・協力企画展・収集・保存・貸出・情報・刊行物・教育・普及事業・美術館協議会・資料収集・評価委員会) 資料 (入館者数統計、美術館事業予算・決算概要) 組織名簿 美術館概要 美術館条例・規則 	100 部



美術館ニュース「TARO」 Vol. 86、87、88、89



2023－2025
川崎市岡本太郎美術館
教育普及記録集



令和5年度
川崎市岡本太郎美術館年報

6. 教育・普及事業 イベント・ワークショップ

・TARO 鯉にいどむ！inラゾーナ川崎プラザ

日 時 2024年4月13日（土）①10:00～11:10 ②12:30～13:40 ③14:30～15:40

作品展示日程 2024年4月24日（水）～5月6日（月祝）

内 容 今回で4回目となった、川崎駅に隣接しているラゾーナ川崎プラザでの、出張ワークショップ「TARO 鯉に挑む！」を行いました。子どもだけでなく付き添いの保護者の方も楽しく制作する様子が見受けられました。美術館の紹介も含んだガイダンスを行うことで、普段、当館に行く機会が少ない家族連れにも興味を持ってもらうきっかけになりました。



場 所 ラゾーナ川崎プラザ 5階 中央通路

対 象 3才～小学生まで（参加条件あり）

料 金 無料

参加人数 ①20名（付添17名） ②19名（付添23名） ③23名（付添25名）（当日受付）

・TARO 鯉に挑む！2024

日 時 2024年4月27日（土）・28日（日）①10:00～12:00 ②13:30～15:30

作品展示日程 2024年5月3日（金祝）～6日（月祝）

内 容 大人気の恒例イベントです。常設展の作品をはじめ、屋外に展示している《TARO 鯉》を鑑賞し、アトリエでオリジナルの鯉のぼりを制作し、母の塔広場に展示しました。岡本太郎作品にエネルギーをもらい、参加者は自由勝手に思い思いの鯉のぼりを制作していました。今年度は、川崎市市制100周年と美術館開館25周年をお祝いして母の塔前広場の展示は、これまでの鯉のぼりを含め、約125匹が泳ぎました。



場 所 創作アトリエ、常設展示室、母の塔前広場

対 象 小学生以上（未就学児は要保護者同伴）

料 金 無料（要観覧料）

参加人数 27日：①12名（子ども11名、大人7名＊付添含む） ②12名（子ども11名、大人9名＊付添含む）

28日：①12名（子ども12名、大人9名＊付添含む） ②12名（子ども9名、大人9名＊付添含む）

（先着順/電話受付）

・みんなでつくろう！こどもの樹

日 時 2024年①5月4日（土）②5月5日（日）10:30～11:30/13:00～16:00

作品展示日程 2024年5月5日（日祝）～19日（日）

内 容 《こどもの樹》には、個性豊かな皆違う顔が並びます。今年で5回目と



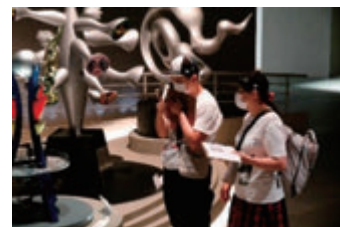
なる、《こどもの樹》の顔で作った塗り絵と自由に描けるイベントです。みんなで自由に描いた顔で大きなこどもの樹を作りました。ゴールデンウィーク期間中の開催で、小さい子ども連れの家族をはじめ大人の方々にも幅広く参加いただき、賑やかなイベントとなりました。今年度は市制100周年と開館25周年を祝し、各日先着125名の参加者にオリジナルシールをプレゼントしました。

場 所 ギャラリースペース
料 金 無料
参加人数 ①子ども95名、大人101名 ②子ども90名、大人104名 合計：390名

・TAROさんと祝おう！記念クイズラリー

日 時 2024年6月29日（土）12:30～15:30
内 容 今年の7月1日に川崎市市制100周年を迎えるにあたり、当館が川崎市の公立美術館であり、川崎市出身の岡本太郎の美術館であるということで、記念すべき年を祝うイベントです。ワークシートの問いのヒントから、あてはまる作品を見つけ、クロスワードを完成させるクイズラリーを幅広い年齢層の方楽しんでいただきました。参加された方は、問いと作品を比べながら、太郎作品をじっくりと鑑賞されていました。

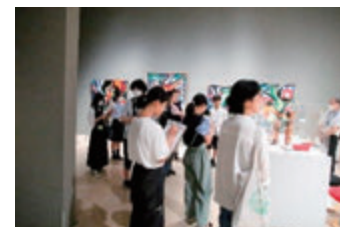
場 所 エントランスホール、展示室
対 象 どなたでも（小学生以下は要保護者同伴）
料 金 要観覧料
参加人数 172名（当日受付）



・中学生「夏休みの宿題手伝います」ツアー

日 時 2024年 ①8月8日（木）②8月22日（木）10:00～11:00
内 容 今年で7年目となる中学生向けの美術館見学ツアーを行いました。中学校では夏休みの課題として美術館に行って感想をかいたり、新聞をつくったりする学校が多く美術館スタッフによるツアーをおこなうようになりました。今年度は、美術館の役割にも触れ、作品だけでなく美術館自体にも興味・関心向けることができるようなワークシートを作成しました。友達や家族と一緒に参加し、作品の話をしながら鑑賞したり、一人で真剣に作品を鑑賞したりする様子が見られました。

場 所 常設展示室、企画展示室
対 象 中学生
料 金 無料
参加人数 ①5名（付添2名）②2名（付添2名）（当日申込）



・美術館裏探検

日 時	2024年8月15日（木）①11:00～11:40 ②13:30～14:10
内 容	普段見ることの出来ないバックヤードの一部を公開する子ども限定のイベントです。第一収蔵庫、第二収蔵庫、大型エレベーター・搬入口・キャットウォークなどを探検しながら、美術館がどのように作品を保管し展示しているのかについて話しました。普段は入れない場所にキョロキョロ、ワクワクしている子ども達の様子が伺えました。
場 所	展示室、バックヤード
対 象	小・中学生
料 金	無料
参加人数	①10名（付添1名） ②10名 （先着順/電話受付）



・《ノン》と帰ろう

日 時	2024年9月22日（日）①11:00～12:00 ②13:30～14:30 ③14:30～15:30
内 容	今夏の常設展「目もあやなオバケ王国 岡本太郎とオバケ論」にも登場し、《太陽の塔》の地下展示室に世界各国の神々の像とともに展示された《ノン》の紙工作ワークショップを行いました。つくることで深く作品について知ることができたと伝えてくださる方やワークショップ参加後、再度《ノン》の作品を鑑賞される方が多くおられました。子どもから大人まで参加された方が笑顔でうれしそうに作品を持ち帰る様子が伺えました。
場 所	ガイダンスホール
対 象	どなたでも（小学3年生以下は要保護者同伴）各回先着16名
料 金	無料（要観覧料）
参加人数	71名（子ども30名、大人41名）（当日受付/整理券配布）



・みんな生き生き TARO アート鑑賞—認知障がいのある方とそのご家族編

日 時	2024年10月2日（水）10:30～11:30
内 容	「みんな生き生き TARO アート鑑賞」は、参加者が岡本太郎作品の世界を味わい、作品を見て、思った事を自由に“生き生き”語り合う場を目指し、様々な人が一緒にアートに親しむプログラムです。今回は第一回目として、認知障がいのある方と、そのご家族が楽しめるプログラムを用意しました。当日は、参加者が集まらず開催中止となりました。
場 所	ガイダンスホール、常設展示室
対 象	認知障がいのある方と、その家族、介助者
料 金	無料（要観覧料）
定 員	3組（電話受付）＊申込なしで未実施

・みんなで描こう！～大好きな太郎作品～

日 時	2024 年 10 月 20 日（日）13:30～15:30
内 容	“キッズ TARO 展”の作品を美術館で制作しするワークショップです。展示室を回り、好きな太郎作品について語り、作品を前にスケッチをし、創作アトリエで色んな色材を使い、みんなで楽しく制作しました。
場 所	展示室・創作アトリエ
対 象	中学生以下
料 金	300 円
参加人数	14 名（付添 9 名）（先着順/電話受付）



・第13回キッズ TARO 作品募集&展示 テーマ「〇〇愛」

作品募集期間	2024 年 10 月 1 日（火）～10 月 27 日（日）＊消印有効
作品展示日程	2024 年 11 月 1 日（金）～12 月 1 日（日）
内 容	岡本太郎作品と共に子どもたちの絵画作品を飾る、「キッズ TARO 展」を今年も開催しました。テーマは「〇〇愛」とし、大好きな岡本太郎作品や、自由に大好きな物事を描いた作品が並びました。多くの来館者が子ども達の作品を熱心に鑑賞し“愛”溢れる展示になりました。
展示場所	ギャラリースペース（無料スペース）
募集資格	中学生以下
作品サイズ	四つ切サイズ（38cm×54cm・縦横自由）以内
応募点数	60 点



・パブリックアート描き書き記録マップ配布

日 時	2024 年 10 月 30 日（水）～
内 容	開館 25 周年を記念し、美術館開館日である 10 月 30 日より、美術館近郊の野外彫刻作品を見て、スケッチしたりや写真を貼ったりして楽しめる自分だけのオリジナルマップが作れる冊子を配布しました。 （先着 125 枚限定・11 月 3 日（日）13:00 頃配布終了）
場 所	展示室・テーマ展示入口付近
対 象	どなたでも
料 金	無料（要観覧料）



・みんな生き生き TARO アート鑑賞—弱視の方とそのご家族編

日 時 2024年11月9日(土) ①10:30～11:30 ②13:30～14:30

内 容 「みんな生き生き TARO アート鑑賞」は、参加者が岡本太郎作品の世界を味わい、作品を見て、思った事を自由に“生き生き”語り合う場を目指し、様々な人が一緒にアートに親しむプログラムです。今回はクラウドファンディングに寄せられた寄付により制作した「立体的な太郎作品紹介カード」の展示や視覚支援機器を用いた鑑賞体験イベントを開催しました。

場 所 ガイダンスホール、常設展示室

対 象 視覚障がいのある方とそのご家族・介助者

料 金 無料(要観覧料)

参加人数 ①4組11名 ②2組4名



・専修大学生企画 太郎の世界を大冒険！！～秘宝を開けてめざせ TARO マスター！～

日 時 2024年11月24日(日) ①10:30～11:30 ②13:00～14:00

内 容 専修大学・問題解決型チャレンジプログラムの学生によるイベントです。岡本太郎の作品を観て、著書を読むことから始め、学生間での話し合い、美術館スタッフを交えた打合せを重ね、展示室内で太郎の考えや作品を取り入れた謎解きゲームを展開しました。大学生らしい楽しく明るい進行と難解な謎解きに参加者も楽しそうで、参加者への TARO マスターの称号の缶バッジを嬉しそうに受け取っている様子が伺えました。

場 所 ガイダンスホール・展示室

対 象 どなたでも *問題レベルは中学生を想定

料 金 無料(要観覧料)

参加人数 ①20名(子ども11名、大人9名) ②19名(子ども9名、大人10名)(先着順/電話受付)



・《こどもの樹》塗り絵をして、缶バッジを作ろう！ in Nocty プラザ

日 時 2025年2月15日(土) ①10:40～(30名) ②12:00～(50名) ③15:00～(20名)

内 容 出張ワークショップ「《こどもの樹》塗り絵をして、缶バッジを作ろう！」を高津区溝口にあるノクティプラザ5階の連絡通路で行いました。今回が初めてのコラボレーション企画となりましたが大勢の参加者で賑わい、岡本太郎美術館の周知につながりました。

場 所 NOCTY 5F 連絡通路

対 象 3歳から小学生以下の子ども(参加条件あり)

料 金 無料

参加人数 78名(付添175名)(当日受付)



・祝！TARO 生誕祭 114

日 時 2025年2月24日（月祝）9:30～17:00（最終入場 16:30）

内 容 太郎さんは1911年2月26日生まれ。今年は、「祝！TARO 生誕祭 114」として、114歳のお祝いイベントを4つ開催しました。



(1) 太郎で彩る一日

内 容 TARO グッズを身に着けて来館された方に、オリジナルシールをプレゼントしました。T シャツやバッグ、缶バッジにキーホルダー、オリジナルティザー溢れる手作りグッズも大歓迎だったため、多くの来館者に参加いただきました。

場 所 エントランス 受付

対 象 どなたでも

料 金 無料

参加人数 188 名



(2) 《犬の植木鉢》の Birthday カードをつくろう！

内 容 太郎の作品《犬の植木鉢》に自分の思いをのせて、「飛び出すバースデーカード」をつくりました。

時 間 10:30～11:30 13:00～15:30

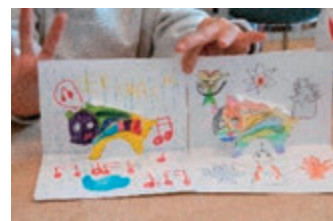
場 所 ギャラリースペース

対 象 どなたでも（小学生3年生以下は要保護者同伴）

定 員 114 名

料 金 無料

参加人数 140 名 （子ども 55 名 大人 85 名）（当日受付）



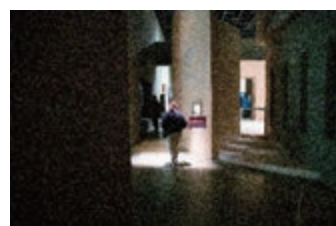
(3) クイズ・太郎さんってこんなひと

内 容 当館が収蔵する新聞・雑誌資料からピックアップした太郎さんの人となりに関するクイズを、展示室内に設置しました。

場 所 常設展示室

対 象 どなたでも

料 金 要観覧料



(4) バボット《よろこび》の展示

内 容 造形家の高橋士郎が考案した空気膜構造の動く彫刻バボットで、岡本太郎の油彩《よろこび》をモチーフとした「バボット《よろこび》——岡本太郎《よろこび》より」をエントランスに展示しました。

期 間 2月22日（土）～2月24日（月・祝）

場 所 エントランス



・はいはい&よちよち美術館ツアー

日 時	2024 年 ①4 月 10 日（水）②5 月 15 日（水）③6 月 12 日（水） ④9 月 11 日（水）⑤10 月 23 日（水）⑥11 月 13 日（水） 2025 年 ⑦2 月 19 日（水）⑧3 月 19 日（水） 10:30～11:30	
内 容	親子で一緒に鑑賞を楽しむことで、親子のコミュニケーションを図ったり、小さな子でも無理なく美術館の雰囲気を味わってもらったりすることができる鑑賞会を行いました。	
場 所	ガイダンスホール、常設展示室	
対 象	3 か月 0～3 才の幼児とご家族 先着 8 組	
料 金	要観覧料	
参加人数	①1 組（子ども 1 名、大人 1 名）（先着順/電話受付） ②5 組（子ども 5 名、大人 6 名） " ③6 組（子ども 7 名、大人 9 名） " ④7 組（子ども 8 名、大人 8 名） " ⑤7 組（子ども 8 名、大人 7 名） " ⑥8 組（子ども 8 名、大人 10 名） " ⑦7 組（子ども 7 名、大人 11 名） " ⑧2 組（子ども 2 名、大人 3 名） "	



・とことこ美術館ツアー&ワークショップ

～色や形をみて・つくって！とげとげいきものをつくろう！～

日 時	2025 年 3 月 23 日（日） 10:00～11:30	
内 容	小さいお子さんとご家族向けに、色や形をきっかけに作品を楽しむ鑑賞ツアーと簡単な制作イベントを行いました。色紙粘土をこねこねしてコンペイトウみたいなおとげとげ生き物をつくりました。	
場 所	常設展示室・創作アトリエ	
対 象	3 歳以上の未就学児とご家族の方	
料 金	300 円＋観覧料	
参加人数	5 組（子ども 6 名、大人 4 名）（先着順/電話受付）	



団体利用実績

学校団体の受け入れにあたっては、対応スタッフの人数及び展示室の広さに合わせ、1回の入館の人数を80人以下とし、更に2・3グループの少人数グループに分けて、適正な鑑賞活動ができるようにしています。鑑賞活動の流れについては、はじめに館外でのガイダンス、館内については対話形式のみ、または、ワークシート等を利用しての実施30分、館外館内合わせて45分ほどで鑑賞を行っています。中学生以上は自由見学のところが多いですが、中学校においても受け入れ人数が多い場合は、常設展示室から入るグループ、企画展示室から入るグループに分け、鑑賞環境を整えた案内を行っています。今年度は、特別支援学校や小・中学校の支援級の利用が多く見られました。学校団体と事前打合せの上、児童・生徒の状況に応じた鑑賞内容・プログラムを実施しています。

利用団体件数及び利用人数については、昨年度と比較すると減少しました。この状況について学校の先生方にお話をうかがったところ、各学校が校外活動の内容を見直し、より精選して実施する傾向が強まってきていることや働き方改革関連法の施行に伴い、ドライバー不足となりバスの予約が取りにくくなっている現状が指摘されました。これらの要因が重なり合うことで、今年度の利用状況に影響を及ぼしていると考えられます。一方、新たに美術館を校外活動に利用する学校や、特別支援学校の利用が増加している状況も見られます。そのため、各学校の状況に応じた対応や、異なる配慮や支援を必要とする児童・生徒の方々が安心して安全に鑑賞できる鑑賞環境を整えることが重要だと考えられます。

< 令和6年度 学校等受入数 >

月	小学校		中学校		高校・大学		特別支援学校等		幼稚園・保育園		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	2	221	0	0	1	112	0	0	0	0	0	0	3	333
5	2	287	0	0	1	22	3	54	2	160	1	4	9	527
6	4	376	0	0	3	46	1	24	0	0	0	0	8	446
7	2	145	3	41	0	0	1	7	1	9	1	24	8	226
8	0	0	1	19	8	67	0	0	0	0	0	0	9	86
9	5	789	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0	6	806
10	8	929	3	130	1	11	0	0	1	29	1	6	14	1105
11	7	823	4	40	1	27	1	2	2	63	1	11	16	966
12	9	1,042	0	0	2	115	0	0	0	0	0	0	11	1157
1	7	541	2	9	0	0	1	19	0	0	1	10	11	579
2	4	355	0	0	0	0	1	19	0	0	1	8	6	382
3	1	110	0	0	1	19	0	0	0	0	1	12	3	141
合計	51	5,618	14	256	18	419	8	125	6	261	7	75	104	6,754

学校プログラム

・職場体験・インターンシッププログラム

内 容 体験を通して美術館で働く人達と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動。学芸員の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、監視・受付の仕事の中から日程に合わせて選択し、各1時間程度体験しています。インターンシップでは、普及イベント（中学生の宿題手伝いますツアー）の手伝いも行ってもらいました。

受け入れ校数 インターンシップ：高校2校
職場体験：高校1校、中学校4校



・学校・地域連携事業

○小学校図画工作科研究会夏季実技研修会

昨年度に引き続き美術館において、川崎市小学校図画工作科研究会夏季実技研修会が行われました。

岡本太郎美術館のアトリエで研究会の常任委員の他、美術館職員から美術館紹介、学校団体との連携について話し、開催中の展覧会内容について説明しました。最初の研修では、美術館の教材セット（「アートカード」、A3パウチの「代表作品」、大型作品「森の掟」）を活用した鑑賞活動が行われ、美術館作成の教材の活用の仕方について体験を通した周知ができました。ガイダンス後、展示室内を各々自由に鑑賞し、鑑賞して膨らんだ想像の世界を午後の表現活動に生かして取り組む姿が見られました。



○中学校連合文化祭 美術科部会 協力

10月23日（水）川崎市中学校連合文化祭が開催されました。今年度は川崎地区13校の生徒55名が参加し、常設展示室と企画展示室の双方で開催する特別展である川崎市市制100周年・開館25周年記念「岡本太郎に挑む 浅井裕介・福田美蘭」展を鑑賞しました。岡本太郎作品の不思議な魅力を感じ、立ち止まってじっくり鑑賞したり、彫刻作品の部屋では気になる作品を選び、スケッチをしたりして、芸術作品を直にみて、新たな視点の気づきを得ながら、作品の面白さを味わっていました。



○生田小学校 PTA 家庭教育学級イベント 協力

2025年1月19日（日）に、生田小学校のPTA家庭教育学級のイベントとして、ブラインドコミュニケーターの石井健介氏と生田小学校の4年生から6年生までの児童及び保護者による岡本太郎作品（常設展示室内）の鑑賞会が行われました。近隣校のイベント協力として、当館も携わりました。参加者の方は、作品を言語化する難しさと楽しさを味わっていました。

教材開発と利用

川崎市の多くの学校では、地域にゆかりのある芸術家・岡本太郎を、美術の授業の中で取り上げています。当館が提供する「学校教材」は、現場の教員の方々と継続的な対話を通して見えてきた現場のニーズを基に授業に役に立つものにと、少しずつ制作・充実させてきたもので、現在では毎年多くの学校でご活用いただいています。

映像資料の「岡本太郎の芸術」・「マナーDVD」や、授業内容に応じて使い分けできるよう、A5・A3・大型・カード型など多様なサイズの作品プリントを用意、さらに2023年からは、新たな教材として、授業で取り上げられることの多い作品を中心に、深い鑑賞授業や創作活動へのきっかけとなるよう、作品画像に加え、当館所蔵の岡本太郎の制作風景を収めた貴重なプライベート写真を含むセットも制作し、学校の要望に応じて貸出をしています。

また、本年度からは、初めて美術鑑賞に取り組む児童でも、遊びながら楽しく岡本太郎の作品に親しめる「作品とジャンケンセット」の貸出も開始しました。いずれの教材セットにも、作品の解説や鑑賞のヒントをまとめた解説書を付けています。

【教材貸出依頼件数】

2020年度	38件
2021年度	80件
2022年度	60件
2023年度	92件
2024年度	77件

<映像資料>

授業で岡本太郎について学ぶ導入として、美術館来館前にご覧いただくDVD教材です。

「岡本太郎の芸術」

時間：20分

岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作、フィールドワークなど様々な活動の記録を分かりやすく解説しています。

*テロップ入りの聴覚障害者向けビデオあり（内容は同じ）



「マナーDVD」

時間：5分

小学生以下の子ども向けにつくった美術館でのマナーを簡単にまとめたものです。昨年度作り替えたものに全て入れかえ活用しています。



＜作品プリント＞

鑑賞授業の目的や用途に合わせて使用できる作品画像や制作風景画像の教材です。

「代表作品」 【パウチ加工 42.5×30.0】



内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 14 作品
立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 19 作品
レリーフ：《天に舞う》全 1 作品
写真：《縄文土器》他 全 2 作品
＊個々の作品についての解説書付き

「遊ぶ字」 【パウチ加工 42.5×30.0】



内容

《夢》《遊》《笑》《楽》《晴》《歌》
《喜》《音》《若》《海》他 全 40 作品

「《太陽の塔》《明日の話》《こどもの樹》授業セット」 【パウチ加工 42.5×30.0】

制作の様子がわかる岡本太郎のプライベート写真や作品と関連のある作品画像をまとめて、《太陽の塔》《明日の神話》についての授業をするためのセットです。《こどもの樹》も新たに制作しました。作品についての解説書付き。



内容

《太陽の塔》正面・背面
《ノン》《戦士》《マスク》
他 全 20 作品



内容

《明日の神話》、《燃える人》ドローイング、制作風景写真 他
全 20 画像



内容

《こどもの樹》ドローイング、
制作風景写真 他
全 20 画像

「作品とジャンケンセット」 【パウチ加工 42.5×30.0】

岡本太郎の作品とジャンケンができるセットを新たに制作。

授業の導入での使用、遊びながら作品鑑賞に繋がられるように、問いの例等を記載した解説書付き。

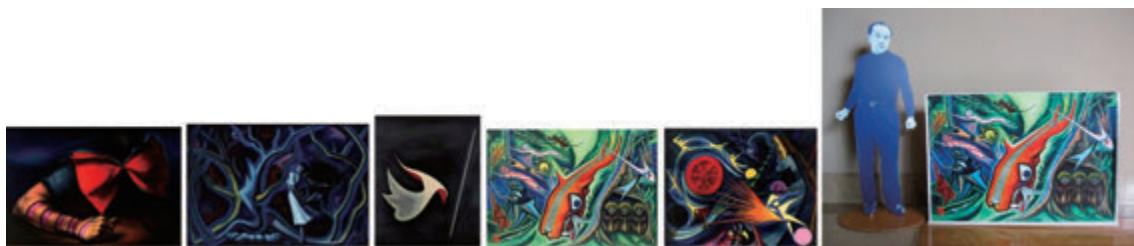


内容

《傷ましき腕》《ノン》《海辺の肖像》
他 全 10 作品

＜大型作品プリント＞ 【巻いて筒状 約B倍 103.0×145.6】

実物大に近い画像を提示でき、学級全体で1つの作品について鑑賞し、対話交流することが出来る教材です。



内容：《傷ましき腕》《重工業》《森の掟》《夜》《空間》全5作品

＜作品カード（アートカード）＞ 【パウチ加工 12.0×18.0】

美術館見学の事前・事後の授業で使用するなど、活用していただけるカード教材です。



内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全7作品

立体作品：《若い時計台》《太陽の塔》他 全10作品

版画：《眼》《夢》全2作品

レリーフ：《マスク》全2作品

インダストリアル：《顔のグラス》他 全3作品

＜子ども向け自由鑑賞ワークシート＞

学校団体向けの鑑賞コースに平成30年度よりワークシートを活用したコースを加え、目的に合わせた各種ワークシートを展示内容に合わせて普及企画スタッフで作成しています。美術館での学習だけでなく、学校授業でも使用していただけます。

・“遊ぶ！”ガイドマップ

常設展示室の地図とともに主な収蔵作品のカラー画像を載せています。



・歩いて 感じて 書き留めるマップ

各展覧会に合わせた内容になっています。鑑賞のきっかけになる質問を載せ、メモが取りやすいよう、スペースを多くとっています。



どこでも TARO アトリエ

「どこでも TARO アトリエ」は、2020 年 4 月に出された緊急事態宣言下で、多くの方がご自宅で過ごされている時期に、美術館へ行けなくても、ご自宅で太郎さんの作品を楽しんでもらえるように、はじめたコンテンツです。これまで好評だったワークショップなどから、大人でも子どもでも、気軽に楽しめるアイデアを集めたもので、コロナ禍後も、「どこでも TARO アトリエ」の公開・更新を続け、学校向けにオンライン教材としても紹介しています。また、今年度、文部科学省の「きみの好き！応援サイト たのしくまなび隊」に掲載されました。掲載されてからは、文部科学省経由のアクセスもあり、広く多くの方にご覧になっていただけているのを感じます。

美術館教育研究会

日 時 2025年2月27日（木）15:00～16:30

場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ

議 題 (1) 令和6年度の普及事業報告

○学校対応事業

○学校・地域連携事業

○イベント・ワークショップ事業

(2) 令和7年度教育普及事業予定

○学校団体利用について

・学校団体鑑賞プログラム

の内容

・鑑賞ワークシートの活用

・貸出教材

○展覧会、イベント予定

(3) その他



出席者 小・中学校：長澤秀行（川崎市総合教育センターカリキュラムセンター指導主事）、
岩崎知美（桁形中学校校長）、丸尾明彦（西有馬小学校校長）、紀裕子（片平小学校校長）、
大高修（東生田小学校総括教諭）、木村光紘（栗木台小学校教諭）

川崎市市民ミュージアム：杉浦央子、奈良本真紀

美術館：佐々木智子（岡本太郎美術館副館長）、佐藤玲子（課長補佐）、澁谷加寿子（主任）、千村曜子（職員）、
鈴木亜優（職員）

今年度は、働き方改革関連法の施行に伴う送迎バスの運行状況等が影響し、美術館を活用する学校団体の件数・人数が昨年度に比べ少なくなりましたが、秋から冬にかけての利用は昨年度並みの利用状況であったことや特別支援学級や特別支援学校の利用が増えたことなどを報告しました。報告後、各学校の校外活動の実施状況やイベントの周知状況について情報共有を行い、利用にあたって提出する書類のやりとりの仕方を含め、次年度の普及活動に役立つ情報をたくさんいただきました。学校の先生方の貸出教材への関心は高く、活用に向けた前向きな感想をいただきました。また、昨年、オンラインコンテンツ「どこでも TARO アトリエ」が、文部科学省の「きみの好き！応援サイト たのしくまなび隊」に掲載されたことにより、アクセス数が増え、利用の広がりを感じていることも加えて報告しました。次年度開催予定の展覧会内容やイベント・ワークショップについて報告した後、開催中の展覧会をご覧いただきました。

次年度以降も、学校関係機関及び教育研究会と連携し、美術館の魅力を伝え、広く多くの方に活用いただくことができるように普及活動を進めてまいります。

7. 指定管理者による自主事業 イベント・ワークショップ

＊川崎市岡本太郎美術館は、2018年4月より「生田緑地共同事業体」（構成企業：(株)日比谷花壇、(株)日比谷アメニス、東急プロパティマネジメント(株)）が指定管理者業務を行っています。

・TARO マルシェ at 生田緑地（美術館との協働事業）

日 時 2024年4月28日（日）11:00～16:00

内 容 企画展「生命の交歓 岡本太郎の食」関連イベントとして企画展担当者からの提案を受け、母の塔広場をメイン会場に第28回 TARO 賞入選作家による作品販売・ワークショップを行う「TARO マルシェ」を開催しました。また、ステージでの音楽演奏、キッチンカーマルシェ、JV によるワークショップ出店などでイベントの盛り上げを行い大変盛況となりました。（P.2 参照）

場 所 西口広場・母の塔広場

内容詳細 第27回 TARO 賞作家（6組）…作品販売・ワークショップ

JV よりジュエリー販売、竹鉄砲販売、ランタン作り、ペーパークラフトの「パイラ人」作りワークショップ出店
ステージ…日本女子大附属高校吹奏楽・コーラスクラブ演奏、専修大学アカペラサークル演奏、鍵盤ハーモニカ
ジャズ、ラテン音楽演奏、殺陣パフォーマンス

フード供給…キューバサンド、クレープ等キッチンカー5台、焼いも販売、パン販売

参加人数 850名



・美術館でフラワーレッスン vol.29

「Blooming Rose～新緑に咲くバラのシュシュ風アレンジメント」

日 時 2024年5月6日（土）①10:30～12:00 ②13:30～15:00

内 容 母の日をテーマにしたプリザーブドフラワーアレンジ教室をゴールデンウィーク最終日に開催しました。早期に満席後、直前に2名がキャンセルとなりましたが、自由度の高いデザインのためか、参加の方はお互いに作品を見せ合ったり、大変楽しそうに創作に集中していました。

場 所 創作アトリエ

対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

講 師 重田章子（日比谷花壇認定講師）

料 金 2,700円（入館外イベント）

参加人数 ①32名（うち同伴4名） ※定員各15名 事前電話受付



・かわいいコケ玉をつくろう！

日 時	2024年6月15日（土）①10:30～11:30 ②14:30～15:30
内 容	毎年好評のコケ玉教室を今回も母の塔下で開催しました。今回も屋上の苔管理者が苔のアカデミックな説明をした後に苔玉の制作に入り、大変盛り上がりました。家族の同伴が多い中シニアの友人同士の参加もあり、皆さん大変楽しかったとお礼のお言葉をたくさんいただきました。
場 所	母の塔下（屋外） ※荒天中止
対 象	どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
講 師	小山裕行（日比谷花壇）
料 金	1,700円
参加人数	①32名（うち同伴12名） ②26名（うち同伴14名） 事前電話受付



・美術館でフラワーレッスン vol. 30

「Seabreeze 海辺の風を感じて～ランタンアレンジメント」

日 時	2024年7月6日（土）10:30～12:00 ※1回のみ開催
内 容	夏をテーマにしたプリザーブドフラワーアレンジ教室を開催しました。浜辺をイメージする白いランタン型の器に青のグラデーションで花をあしらひ完成させます。今回は事情により午前の回のみで開催としましたが、いつも午後にご参加の方も時間を調整して参加いただき、リピーターの方の根強い支持がありました。
場 所	創作アトリエ
対 象	どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
講 師	重田章子（日比谷花壇認定講師）
料 金	2,700円（入館外イベント）
参加人数	16名（うち同伴3名） ※定員20名 事前電話受付



・金魚つり体験（「空飛ぶ！金魚ちゃん」）・風鈴絵付け（民家園通り商店会夏まつり協力出店）

日 時	2024年7月20日（土）14:00～18:00（20:15までのところ雨天で中断）
内 容	毎年開催協力をしている「民家園通り商店会夏まつり」へのワークショップ出店で、テント天井からアズマネザサの竿とクリップの針を使って紙細工の金魚を釣るゲームを開催しました。昨年は紙で金魚を作るワークショップを開催しましたが、猛暑を考慮してより短時間で楽しめる内容にリメイクしたものです。昨年好評だった風鈴の絵付けも行い、大変好評をいただきました。金魚の紙細工や風鈴を手にした浴衣の子供たちが、今回は祭り会場を彩り、一種の風物詩になりつつあります。
場 所	民家園通り 大踏切付近特設テント
講 師	山内夏美（日比谷花壇）、相州雅屋



料 金 金魚 300 円、風鈴絵付け 500 円
参加人数 金魚 54 名（同伴除く）、風鈴 50 名

・美術館でフラワーレッスン vol. 31

「ハロウィン ハーベスト～実りの秋のパンプキンアレンジメント」

日 時 2024 年 10 月 15 日（土）①10:30～12:00 ②14:00～15:30

内 容 カボチャ型の可愛らしい器に秋色花材をあしらったプリザーブドフラワーアレンジ教室を開催しました。ハロウィンをストレートにテーマにしたデザインは4年ぶりでしたが、そのせいか普段参加されない方に多数参加いただきました。軽度の認知症のお母様と参加された方が大変楽しめた、と喜ばれていたのが印象的でした。



場 所 ガイダンスホール

対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

講 師 重田章子（日比谷花壇認定講師）

料 金 2,700 円（入館外イベント）

参加人数 ①16 名（うち同伴 1 名） ②9 名（うち同伴 2 名） ※定員各 15 名 事前電話受付

・TARO 缶バッジをつくって・遊びにこよう（生田緑地お月見フェスタ内ワークショップ）

日 時 2024 年 9 月 14 日（土）11:00～16:00

内 容 生田緑地お月見フェスタ会場内での岡本太郎美術館の PR と来館誘導を図る施策として、学芸普及班協力の「TARO 缶バッジ」制作のワークショップを出店しました。制作した缶バッジをつけて美術館を観覧された方には特製シールを先着でプレゼント、という内容です。当日は予報外の猛暑となり、お月見フェスタ自体の来場者が前年より減ってしまいましたが、ワークショップは好評で大変喜ばれました。



場 所 中央広場「生田緑地お月見フェスタ」会場 ※荒天中止

対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

講 師 山内夏美、野瀬一生、大友遥絵、岸井晶子（日比谷花壇）

料 金 300 円

参加人数 121 名（うち同伴 51 名） 随時参加受付

・「空飛ぶ！金魚ちゃん」全国都市緑化かわさきフェア出店

日 時	2024 年 11 月 17 日（日）11:00～15:00
内 容	全国都市緑化かわさきフェアの空き TENT を有効活用したいとの要望に応え、民家園通り商店会夏まつりで開催し好評をいただいた紙細工の金魚釣りを開催しました。夏まつりでゲリラ豪雨に見舞われ開催中断した資材の残りを活用しましたが、緑化フェアの TENT が大きく、空の柄の TENT を中に張り金魚を吊るした状態がちょうど家族で参加の方みなさんで楽しめると思われ、緑化フェア会場の盛り上げにも貢献しました。
場 所	中央広場全国都市緑化かわさきフェア会場 ※荒天中止
対 象	どなたでも（小学 3 年生以下は保護者同伴）
講 師	山内夏美、岸井晶子（日比谷花壇）
料 金	200 円
参加人数	193 名（うち同伴 110 名） 随時参加受付



・美術館でフラワーレッスン vol. 32

「Bright honey Xmas～はちみつ色にきらめくホースシューリース～」

日 時	2024 年 10 月 23 日（土）①10:30～12:00 ②14:00～15:30
内 容	例年、参加者の要望でクリスマスは生花素材を使ったリース教室を開していますが、今回は蹄鉄型のベースを使った変わり種の形状のリースを制作しました。毎年難易度の高いこのリース教室に、今回初参加の方が 1/3 を占め、友人を誘って参加される方もあり異色の「体力派レッスン」が非常に新鮮だったようで、「疲れたけど大変充実した」と満足度も非常に高く、アンケートでも大変好評でした。
場 所	創作アトリエ
対 象	どなたでも（小学 3 年生以下は保護者同伴）
講 師	重田章子（日比谷花壇認定講師）
料 金	2,700 円（入館外イベント）
参加人数	①13 名 ②19 名（うち同伴 3 名） ※定員各 15 名 事前電話受付



・美術館でフラワーレッスン vol. 33 「エレガントモダンなお正月アレンジメント」

日 時	2024 年 12 月 21 日（土）①10:30～12:00 ②14:00～15:30
内 容	年間で最も人気が高い新春テーマのアレンジメント教室を開催しました。今回は羽子板型のベースに、オレンジのダリアなど正月らしいカラーリングの花を組み合わせて、花束にしたものを接着し間を花で埋める、と言う工程です。今回も早期満席となりましたが当日のキャンセルが 2 名発生し、X（旧 Twitter）で募集したところ再満席となる人気でした。
場 所	創作アトリエ



対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
 講 師 重田章子（日比谷花壇認定講師）
 料 金 2,700 円（入館外イベント）
 参加人数 ①16 名（うち同伴 1 名） ②16 名（うち同伴 1 名） ※定員各 15 名 事前電話受付

・TARO 風をつくろう！

日 時 2025 年 1 月 11 日（土）①10:30～12:00 ②13:30～15:00

内 容 例年好評の竹と和紙で作る本格的な和風教室を開催しました。岡本太郎の作品カードを参考に、または好きな絵を和紙に描き、竹骨を貼りつけて風を組みあげます。今回も定員が少なくても同伴が多いのでアトリエはかなり賑わいました。お子さんが伸び伸び描いた絵を保護者の方が一生懸命風に仕立て、親子で作り上げる楽しい教室となりました。



場 所 創作アトリエ

対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

講 師 小山裕行（日比谷花壇）

料 金 500 円（入館外イベント）

参加人数 ①31 名（うち同伴 18 名） ②27 名（うち同伴 12 名） ※定員各 15 名 事前電話受付

・美術館でフラワーレッスン vol. 34「春の調べ～春色のウッドボックスアレンジ」

日 時 2025 年 3 月 15 日（土）①10:30～12:00 ②14:00～15:30

内 容 今年も人気の春の花テーマの教室を開催しました。木製の長方形のボックス型の器に自由に艶やかな色あいのキク数種や梅の花をあしらひ、春の宴のようなイメージの作品を仕上げました。春の開催はネットで検索し参加いただく方が多い傾向にあるようで、参加費にしては大変本格的なデザインの教室に驚かれる方も多く、また新年の教室からリピートされる方も多く、皆さん思い思いに創作を楽しんでいただきました。



場 所 創作アトリエ

対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

講 師 重田章子（日比谷花壇認定講師）

料 金 2,700 円（入館外イベント）

参加人数 ①15 名 ②16 名（うち同伴 1 名） ※定員各 15 名 事前電話受付

・西口キッチンカー

日 時	2024 年 4 月～2025 年 3 月 毎土・日・祝日 10:00～夕方
内 容	西口キッチンカーは、西口広場の活性化と美術館来館にもう一つ楽しみを演出するため派遣を開始し3年目となりました。人気店が確立し、ホームページで出店情報をチェックし利用される方もおり、キューバサンドやクレープなどはいつ出店しても相応の売上をあげるようになりました。
場 所	母の塔付近
出店品目	キューバサンド、ケバブ、クレープ、静岡食材丼、かき氷等
延べ出店日数	107 日
延べ出店数	194 店舗
利用客数	7,348 人



8. 川崎市岡本太郎美術館部会

川崎市岡本太郎美術館部会

第1回

日 時：2024年10月31日（木）14:00～15:50

場 所：岡本太郎美術館 創作アトリエ（オンライン併用）

出席委員：

部会長	橋 本 善 八（世田谷美術館館長）
委 員	杉 浦 幸 子（武蔵野美術大学造形学部教授）
	長 門 佐 季（神奈川県立近代美術館館長）
	藤 嶋 俊 會（美術評論家）

議 事：

・令和6年度事業経過・予定

1 展覧会事業

(1)企画展

(2)常設展

2 資料収集・整理、調査研究

3 作品の保存・修復、貸出

4 クラウドファンディング

5 普及企画

6 広報活動

7 施設・設備の整備

8 その他

(1)予算・決算資料

(2)統計データ

(3)展覧会ポスター

第2回

日 時：2025年3月5日（水）14:00～16:10

場 所：岡本太郎美術館 創作アトリエ（オンライン併用）

出席委員：

部会長	橋 本 善 八（世田谷美術館館長）
委 員	加 藤 弘 子（平塚市美術館特別館長）
	長 門 佐 季（神奈川県立近代美術館館長）
	藤 嶋 俊 會（美術評論家）

議 事：

・令和6年度事業経過・報告

1 展覧会事業

(1)企画展

(2)常設展

- 2 資料収集・整理、調査研究
- 3 作品の保存・修復、貸出
- 4 クラウドファンディング
- 5 普及企画
- 6 協働・連携
- 7 広報活動
- 8 施設・設備の整備
- 9 その他

(1)予算・決算資料

(2)統計データ

(3)展覧会ポスター

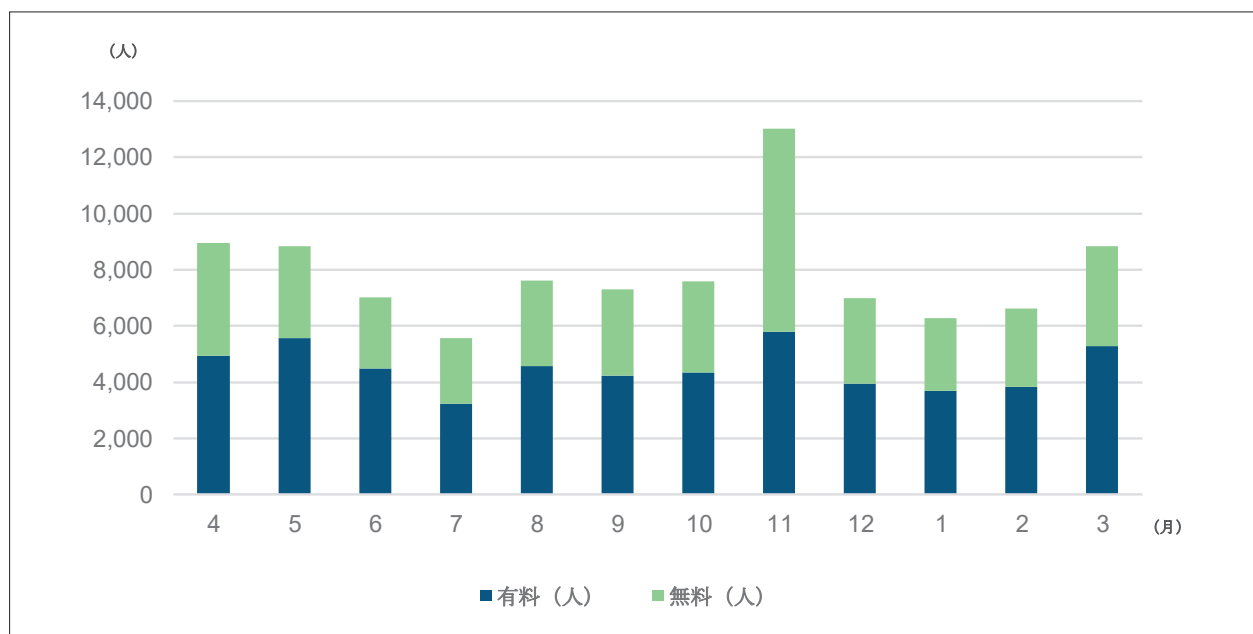
- ・令和7年度事業予定
- ・令和6年度事業評価

II. 資料

1. 入館者数統計

■令和6年度 月別入館者数■

月	開館日数	一日平均 (人)	有料 (人)	無料 (人)	合計 (人)
4	24	372	4,931	4,007	8,938
5	26	340	5,562	3,284	8,846
6	26	270	4,495	2,524	7,019
7	23	243	3,241	2,338	5,579
8	25	304	4,575	3,030	7,605
9	25	292	4,221	3,069	7,290
10	25	303	4,346	3,238	7,584
11	28	465	5,798	7,217	13,015
12	24	291	3,944	3,035	6,979
1	21	299	3,686	2,597	6,283
2	23	287	3,823	2,783	6,606
3	25	354	5,284	3,566	8,850
合計	295	321	53,906	40,688	94,594



■年度別入館者数■

	開館日数	有料入館者	無料入館者	合計	一日平均
平成 11 年度	124	43,420	29,593	73,013	589
平成 12 年度	292	49,532	31,837	81,369	279
平成 13 年度	298	36,363	34,613	70,976	238
平成 14 年度	298	36,466	38,259	74,725	251
平成 15 年度	293	36,199	32,296	68,495	234
平成 16 年度	287	34,607	34,183	68,790	240
平成 17 年度	293	38,682	34,382	73,064	249
平成 18 年度	296	58,619	56,197	114,816	388
平成 19 年度	296	43,061	27,360	70,421	238
平成 20 年度	294	42,545	29,443	71,988	245
平成 21 年度	293	44,541	30,906	75,447	257
平成 22 年度	284	38,422	31,611	70,033	247
平成 23 年度	287	50,053	37,989	88,042	307
平成 24 年度	284	45,777	37,260	83,037	292
平成 25 年度	298	36,322	33,862	70,184	236
平成 26 年度	296	34,370	38,800	73,170	247
平成 27 年度	296	35,253	37,330	72,583	245
平成 28 年度	294	36,417	38,922	75,339	256
平成 29 年度	288	33,389	40,129	73,518	255
平成 30 年度	299	40,277	37,685	77,962	261
令和元年度	289	34,933	34,204	69,137	239
令和2年度	256	35,154	23,895	59,049	231
令和3年度	294	50,255	31,689	81,944	279
令和4年度	178	37,082	23,802	60,884	342
令和5年度	293	61,050	48,464	109,514	374
令和6年度	295	53,906	40,688	94,594	321
合 計	7,295	1,088,695	915,399	2,002,094	274

※岡本太郎美術館の開館日：1999（平成11）年10月30日

2. 美術館事業 予算・決算概要

予算概要

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳出	非常勤職員経費	14,951	
	報酬	12,248	会計年度任用職員（館長・旧非常勤）
	給料	2,326	再任用職員
	職員手当等	377	再任用職員
	学芸業務事業費	51,835	
	報酬	3,293	会計年度任用職員（旧臨職）
	報償費	1,068	資料収集・評価審査謝礼 企画展関連イベント協力謝礼 教育普及関連イベント協力謝礼
	旅費	1,131	企画展等調査、作品集荷返却
	需用費	1,249	図書・雑誌、展示上映用消耗品 情報事業用消耗品、教育普及用消耗品 燃料費、食糧費
	役務費	690	キャッシュレス決済手数料
	委託料	33,540	展示上映事業（企画展、常設展） 情報事業、教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（岡本かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	8,217	OA機器賃借料、展示上映使用料賃借料
	備品購入費	2,587	美術作品・資料、庁用備品、図書
	負担金補助及び交付金	60	全国美術館会議負担金 神奈川県博物館協会負担金

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	管理運営事業費	136,970	
	委託料	136,970	指定管理委託料
	資料デジタル化事業費	4,420	
	報酬	1,740	会計年度任用職員（旧臨職）
	需用費	114	資料デジタル化事業用消耗品
	委託料	2,566	資料デジタル化事業委託
	美術館維持補修事業費	16,713	
	委託料	12,803	空気熱源ヒートポンプ設備整備
	工事請負費	3,910	照明 LED 化工事
	美術館施設整備事業費	22,270	
	委託料	20,700	アスベスト調査業務、改修工事設計
	工事請負費	1,570	漏水対策工事
	岡本太郎作品補修事業費	3,847	
	委託料	3,847	油彩作品補修業務
計		251,006	

歳 入	使用料	43,045	観覧料
	その他使用料	1,448	カフェテリア使用料、資料等特別利用料
	雑入	9,200	図録等売上、イベント参加料、各種助成金
計		53,693	

決算概要

(単位：千円)

	事項名	決算額	主な内容
歳出	非常勤職員経費	14,894	
	報酬	12,192	会計年度任用職員（館長・旧非常勤）
	給料	2,326	再任用職員
	職員手当等	376	再任用職員
	学芸業務事業費	49,427	
	報酬	3,369	会計年度任用職員（旧臨職）
	報償費	735	資料収集・評価審査謝礼 企画展関連イベント協力謝礼 教育普及関連イベント協力謝礼
	旅費	867	企画展等調査、作品集荷返却
	需用費	1,123	図書・雑誌、展示上映用消耗品 情報事業用消耗品、教育普及用消耗品 燃料費、食糧費
	役務費	625	キャッシュレス決済手数料
	委託料	32,267	展示上映事業（企画展、常設展） 情報事業、教育普及事業 清掃委託（岡本かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	8,072	OA機器賃借料、作品賃借料
	備品購入費	2,314	美術作品・資料、庁用備品
	負担金補助及び交付金	55	全国美術館会議負担金 神奈川県博物館協会負担金

(単位：千円)

	事項名	決算額	主な内容
歳 出	管理運営事業費	136,970	
	委託料	136,970	指定管理委託料
	資料デジタル化事業費	4,382	
	報酬	1,719	会計年度任用職員（旧臨職）
	需用費	102	資料デジタル化事業用消耗品
	委託料	2,561	資料デジタル化事業委託
	美術館維持補修事業費	7,341	
	委託料	3,520	コンデンサ・リアクトル設備整備
	工事請負費	3,821	空調機補修工事、照明 LED 化工事ほか
	美術館施設整備事業費	6,197	
	委託料	5,042	アスベスト調査業務
	工事請負費	1,155	光庭内側シールやり替え工事
	岡本太郎作品補修事業費	3,833	
	委託料	3,833	作品修復《太陽の鐘》 額装修復《変身》《めざめ》《霊視》 母の塔整備業務
計		223,044	

歳 入	使用料	38,140	観覧料
	その他使用料	1,304	カフェテリア使用料、資料等特別利用料
	雑入	3,084	図録等売上、イベント参加料、各種助成金
計		42,528	

III. 組織名簿（令和6年度）

川崎市文化芸術振興会議岡本太郎美術館部会委員名簿

（任期 2023 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

部会長	橋 本 善 八（世田谷美術館館長）
委 員	加 藤 弘 子（平塚市美術館特別館長）
委 員	杉 浦 幸 子（武蔵野美術大学造形学部教授）
委 員	長 門 佐 季（神奈川県立近代美術館館長）
委 員	藤 嶋 俊 會（美術評論家）

川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

館長	土 方 明 司
副館長	佐 々 木 智 子
課長補佐・学芸員（普及企画）	佐 藤 玲 子
担当係長・学芸員（学芸）	片 岡 香
担当係長（管理）	重 森 雄 介
事務職員（学芸）	石 原 輝 美
事務職員（管理）	五 十 嵐 綾 子
学芸員（学芸）	喜 多 春 月
学芸員（学芸）	加 藤 志 帆
再任用職員（普及企画）	澁 谷 加 寿 子
会計年度任用職員（普及企画）	鈴 木 亜 優
会計年度任用職員（普及企画）	千 村 曜 子
会計年度任用職員（学芸）	細 川 茉 利 香

IV. 川崎市岡本太郎美術館概要

美術館の目的

川崎市岡本太郎美術館は、川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎氏から寄贈された美術作品及び資料をコレクションの中心として岡本太郎芸術の背景となった両親のかの子、一平の芸術、並びに近現代美術についての収集と展示を主な事業としています。また新しい芸術を創造するための収集、展示などを行い、市民の利用に供するものとします。

更には、単なる美術、芸術鑑賞の場にとどまることなく、市民の美術、芸術に関する創造活動を促進し、市民の芸術及び文化の発展に寄与することを目的としています。

美術館事業内容

収集・保存

岡本太郎、一平、かの子に関する作品、資料、また近現代の美術作品を収集し、収蔵庫での燻蒸や必要に応じて資料の修復を行うなど、作品の保存管理を行います。

調査研究

- ・岡本太郎、一平、かの子作品とその周辺の美術、国内外の現代美術に関する調査と研究。
- ・美術館における展示方法や作品・資料の修復、保存の研究。
- ・美術館の普及活動における調査研究。

展 示

(常設展示)

常設展示室では、岡本太郎の作品の紹介とその背景となる一平、かの子の作品、資料の展示替えを年4回行います。

(企画展示)

企画展示室では、岡本太郎芸術に関連するテーマ展、新人作家展、子供向け展覧会など幅広いジャンルに渡る企画展を年4回の割合で行います。

情報・出版

ガイダンスホールでは、岡本太郎作品や芸術についての映像を来館者に無料で提供します。また美術館ホームページやミュージアムニュースなどさまざまなメディアを通して外部への情報を発信し、美術館と人とのコミュニケーション作りをめざしています。

普 及

子どもから成人まで、さまざまな年齢層に応じ、ワークショップ、講演会、講座などのイベントや、貸出教材、ビデオ等での岡本太郎や美術館の紹介など、だれもが気軽に美術に親しめるための普及活動を行います。また他の美術館、教育施設と連携したイベント等の事業にも活動を広げていきます。

美術館沿革

平成3年 4月 川崎市市民ミュージアムにて「川崎生まれの鬼才・岡本太郎」展開催

11月 岡本太郎氏の所有する主要作品 352点が寄贈される(第一次)

平成5年 1月 岡本太郎氏に川崎市名誉市民を贈る

岡本太郎氏の所有する主要作品 1,427点が追加寄贈される(第二次)

4月 岡本太郎記念館準備室 発足

川崎市市民ミュージアムにて「TARO 万華鏡」展開催

平成6年 4月 岡本太郎記念館準備室から岡本太郎美術館準備室に名称変更

- 平成7年 11月 広島市現代美術館にて「岡本太郎」展開催
- 平成8年 1月 岡本太郎逝去（享年84歳）
- 6月 アートガーデンで川崎「岡本太郎追悼」展開催
- 11月 生田緑地にて美術館建設工事着工
- 平成9年 9月 新百合トゥエンティワンで「'97 TARO」展開催
- 平成10年 5月 岡本敏子氏により、青山のアトリエに岡本太郎記念館が開館する
- 平成11年 2月 美術館建設工事、展示工事竣工（工期2年3ヶ月）
- 4月 岡本太郎美術館準備室から川崎市岡本太郎美術館に名称変更
- 村田慶之輔氏が館長に就任、シンボルタワー「母の塔」工事竣工
- 10月 川崎市岡本太郎美術館開館、開館記念展「多面体・岡本太郎一哄笑するダイナミズム」開催
- 平成15年 4月 岡本敏子氏の所有する岡本太郎関連資料1,827点が寄贈される（第三次）
- 平成16年 3月 多摩区役所1Fロビーに《樹霊》設置
- 4月 「肉体のシュルレアリスム 舞踏家土方巽抄」展（2003年）が、第35回舞踏批評家協会賞を受賞
- 10月 開館5周年記念展「テレビ発掘 まる裸の太郎」開催
- 平成17年 3月 北代省三氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4月 岡本太郎の養女・岡本敏子逝去
- 10月 多摩区役所1Fロビーに《樹霊》にかわり《月の顔》設置
- 平成18年 2月 入館者50万人達成
- 平成21年 4月 開館10周年記念展「岡本太郎の絵画」開催
- 平成23年 2月 岡本太郎生誕100年 誕生日記念イベント開催
- 3月 東京国立近代美術館で「生誕100年 岡本太郎」展開催
- 4月 「生誕100年人間・岡本太郎」展開催
- 10月 岡本太郎生誕100年記念イベント ダンス公演「TAROと踊ろう！」開催
- 平成24年 3月 入館者100万人達成
- 4月 北條秀衛氏が館長に就任、村田慶之輔氏が名誉館長に就任
- 平成25年 3月 池田龍雄氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4月 生田緑地一部指定管理者制度導入
- 平成26年 3月 生田緑地西口園路開通
- 7月 川崎市制90周年記念展「岡本太郎とアール・ブリュット 生の芸術の地平へ」開催
- 10月 開館15周年記念展「TARO賞の作家Ⅱ」開催
- 11月 開館15周年記念イベント「TARO祭り」開催
- 平成27年 2月 《母の塔》補修工事完了
- 4月 川崎市岡本太郎美術館資料収集委員会、資料評価委員会廃止
- 6月 川崎市岡本太郎美術館協議会廃止
- 川崎市文化芸術振興会議施設部会設置
- 平成30年 10月 入館者150万人達成
- 平成31年 7月 開館20周年記念展「これまでの企画展みんな見せます！」開催
- 令和3年 4月 土方明司氏が館長に就任
- 令和4年 7月 大阪中之島美術館にて「展覧会 岡本太郎」開催
- 10月 東京都美術館にて「展覧会 岡本太郎」開催

- 令和5年 1月 愛知県美術館にて「展覧会 岡本太郎」開催
2月 多摩区役所1Fロビーに設置された《月の顔》を常設展「岡本太郎とにらめっこ」に展示
令和6年 10月 川崎市市制100周年・開館25周年記念「岡本太郎に挑む 浅井裕介・福田美蘭」展開催
令和7年 3月 入館者 200万人達成

施設・設備概要

常設展示室（1,026㎡）

岡本太郎の多岐にわたる分野を越えた幅広い芸術作品や著作、パフォーマンス、フィールドワーク等の活動、また思想的な背景となる民族学やパリ時代での交友など多面体の岡本太郎の軌跡を伝えるためには、その表現世界の広がりに対応する展示環境が不可欠でした。

常設展示室は、芸術活動の分野や内容、作品の特徴や形状、時代毎の傾向などによって、展示室全体が複雑に分節され、それぞれに独自の空間と役割を与えられた部屋が柔らかく結ばれた迷路のように作られています。そこには順路はなく来館者は迷宮の様な空間を歩きながら岡本太郎と出会い、その断片を発見する旅がはじまるのです。

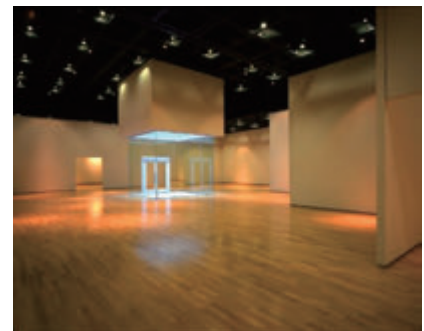
各ゾーンには作品を映像・グラフィックと共に見せる絵画ゾーン、作品そのものによって空間を構成し、照明効果、映像の演出によって様々な表情を見せる彫刻のゾーン、また多面的な活動をわかりやすく紹介する展示空間など、それぞれが岡本太郎を訪ねる旅の一場面となっています。

これら従来の作品を単に鑑賞する美術館から、子供から大人まで、理屈抜きに岡本太郎を肌で感じ体験できる展示空間として、楽しんでいただけます。



企画展示室（828㎡）

岡本太郎に関わる展示だけでなく、新人作家の紹介や、現代美術、子供の創造性を高める参加型の展覧会など様々な展示に対応できる空間です。中央に外光を取り入れるための光庭が配置され、828㎡の空間は可動壁によって、いくつかのパターンの展示空間を作ることができます。



母の塔

岡本太郎美術館のシンボルタワー「母の塔」は、「大地に深く根ざした巨木のたくましさ」と「ゆたかでふくよかな母のやさしさ」「天空に向かって燃えさかる永遠の生命」をテーマとして製作されました。製作にあたっては原型を3次元解析して得た座標数値を基に、正確に再現しています。

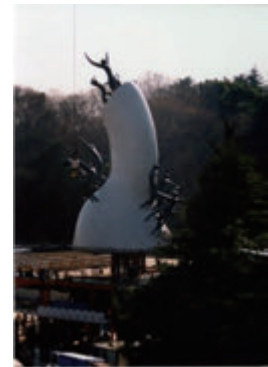
外装のGRCパネルは高い強度と精度管理のしやすさから、またクラッシュタイルは3次曲線に追従し、かつ目地処理が容易であることから選ばれました。外装の「タローホワイト」と名付けた特殊な色のタイルは、光を浴びるとゆっくりと表情を変え、微妙な歪みや揺らぎを見ることができます。

施工に際しては、空中における3次元座標の管理、複雑な形状とデリケートな作業、合理的な仮設計画等から、全ての作業を作業床で完了させるジャッキアップ工法が取り入れられ、先



端部分から順に完成させては押し上げる、まるで大地から生えてくるような、制作のプロセスそのものもダイナミックで芸術的な施工方法で完成しました。

- 名称・・・・・・母の塔
- 原作者・・・・・・岡本太郎
- 原型制作年・・1971 年
- 設計・・・・・・川崎市教育委員会、現代芸術研究所
- 施工・・・・・・戸田・北島共同企業体
- 建物用途・・・・工作物（屋外彫刻）
- 構造・・・・・・鉄骨造（塔体パイプトラス＋鋳鋼ジョイント）
- 全高・・・・・・30m
- 工法・・・・・・ジャッキアップ工法
- 支持杭・・・・現場造成杭（機械掘深礎工漬）径 2m、7 本
- 外装・・・・・・外殻 GRC クラッシュパネル
仕上 クラッシュタイル（スコルト加工）
- 人形彫刻・・・・FRP ブロンズ仕上 16 体 H＝3.0～5.6m
内部 常温亜鉛メッキ鉄骨補強
- その他設備・・照明設備、避雷



V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則

条例

（目的及び設置）

第1条 川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎を中心とした美術作品及び資料の収集、展示等を行い、市民の利用に供するとともに、市民の美術に関する創造的活動を促進し、もって市民の芸術及び文化の発展に寄与するため、川崎市岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

（位置）

第2条 美術館の位置は、川崎市多摩区枳形7丁目1番5号とする。

（事業）

第3条 美術館は、第1条の目的を達成するため、おおむね次の事業を行う。

（1）美術作品及び資料（以下「美術作品等」という。）の収集、保管、展示等を行うこと。

（2）美術作品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。

（3）美術作品等に関する情報の提供を行うこと。

（4）講演会、講習会、研究会等を開催すること。

（5）博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、情報の交換、美術作品等の相互貸借等を行うこと。

（職員）

第4条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

（指定管理者）

第5条 市長は、法人その他の団体であって次の要件を満たすものとしてその指定するもの（以下「指定管理者」という。）に美術館の管理を行わせる。

（1）美術館の管理を行うに当たり、市民の平等な利用が確保できること。

（2）事業計画書の内容が、美術館の効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。

（3）事業計画書の内容に沿った美術館の管理を安定して行う能力を有すること。

2 前項の指定を受けようとするものは、事業計画書その他市長が必要と認める書類を市長に提出しなければならない。

3 市長は、第1項の指定をしたときは、その旨を告示する。

（指定管理者が行う管理の基準）

第6条 指定管理者は、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、美術館の管理を行わなければならない。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第7条 指定管理者は、次に掲げる業務を行わなければならない。

（1）美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。

（2）美術館の広報活動に関すること。

（3）前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

（開館時間及び休館日）

第8条 美術館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、開館時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

開館時間	午前9時30分から午後5時まで
休館日	<p>（1）月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。）</p> <p>（2）休日の翌日（土曜日、日曜日及び休日を除く。）</p> <p>（3）12月29日から翌年の1月3日までの日（前2号に掲げる日を除く。）</p>

（観覧料）

第9条 常設展又は企画展の展示会場へ入場しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

（特別利用）

第10条 美術作品等について熟覧、模写、模造、撮影又は原板使用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める区分に応じ同表に定める特別利用料を納付しなければならない。

3 特別利用料は、許可と同時に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

4 市長は、第1項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。

（受講料等）

第11条 市長は、第3条第4号に規定する事業を行うに当たっては、受講料又は入場料を徴収することができる。

2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

（観覧料等の減免）

第12条 市長は、特に必要があると認めるときは、第9条に規定する観覧料及び第10条第2項に規定する特別利用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

（観覧料等の還付）

第13条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が

特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（入館等の制限）

第14条 指定管理者は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

（損害の賠償）

第15条 美術作品等又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

（委任）

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。（平成11年6月30日規則第69号で平成11年10月30日から施行）

附 則（平成12年12月21日条例第79号）

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成17年9月30日条例第88号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年12月14日条例第77号）

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月20日条例第18号抄）

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年10月9日条例第47号）

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律（平成19年法律第96号）の施行の日又はこの条例の公布の日のいずれか遅い日から施行する。

附 則（平成21年12月24日条例第47号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

（川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置）

12 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

（1）川崎市スポーツ振興審議会条例

（2）川崎市とどろきアリーナ条例

（3）川崎市体育館条例

（4）川崎市スポーツセンター条例

（5）川崎市武道館条例

（6）川崎市市民ミュージアム条例

（7）川崎市岡本太郎美術館条例

（8）川崎市大山街道ふるさと館条例

附 則（平成24年3月19日条例第4号）

この条例は、平成25年4月1日から施行する。ただし、第4条の次に4条を加える改正規定（第5条（指定管理者に美術館の管理を行わせることに係る部分を除く。）に係る部分に限る。）及び第12条の改正規定（同条を第16条とする部分を除く。）は、公布の日から施行する。

附 則（平成27年3月23日条例第2号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

（1）第16条、第17条及び第20条の規定 平成27年5月1日

（2）第3条の規定 平成27年6月1日

（3）第19条の規定 平成27年7月1日

（4）第7条の規定 平成28年4月1日

（5）第12条、第14条及び第15条の規定 平成28年5月1日

（6）第2条、第4条、第11条、第13条及び第18条の規定 平成28年6月1日

（7）第6条の規定 平成28年9月1日

（8）第5条の規定 平成28年10月1日

（9）第8条の規定 平成28年11月1日

附 則（平成28年3月24日条例第30号）

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（令和3年12月16日条例第81号抄）

（施行期日）

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和4年10月21日条例第43号）

（施行期日）

1 この条例は、令和5年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の際現に模写、模造又は原板使用に係る許可を受けている者の当該許可に係る使用料については、なお従前の例による。

別表第1（第9条関係）

1 普通観覧料

（1）常設展の観覧料

区分	個人	団体
高校生・大学生及び65歳以上の者	300円	1人につき 240円
一般	500円	1人につき 400円

備考

1 団体とは、20人以上をいう。

2 年齢に達しない者及び学校教育法（昭和22年法律第26号。以下「法」という。）第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。

3 高校生・大学生とは、法第1条に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程、大学及び高等専門学校、法第124条に規定する専修学校、法第134条に規定する各種学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者をいう。

4 一般とは、前2項に規定する者及び65歳以上の者以外の者をいう。

5 企画展の観覧料を納付した者は、無料とする。

(2) 企画展の観覧料

1人につき2,000円の範囲内で市長がその都度定める。

2 共通利用券

種別	金額
100円券 12枚つづり	1,000円
100円券 25枚つづり	2,000円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体（20人以上をいう。）の入場等については、この限りでない。

(1) 美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場

(2) 川崎市青少年科学館条例（昭和46年川崎市条例第24号）に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧

(3) 川崎市立日本民家園条例（昭和42年川崎市条例第19号）に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

市長は、7,000円の範囲内で定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第2（第10条関係）

区分	単位	特別利用料
熟覧	1点 1日	200円
模写		1,010円
模造		1,010円
撮影	1点	300円
原板使用	1枚	2,030円

条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、川崎市岡本太郎美術館条例（平成11年川崎市条例第25号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(公告)

第2条 市長は、条例第5条第1項の規定により川崎市

岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）の管理を行わせるため、法人その他の団体（以下「法人等」という。）を指定しようとするときは、あらかじめ次に掲げる事項を公告する。

- (1) 管理を行わせる施設の名称及び所在地
- (2) 条例第5条第1項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の予定期間（以下「指定予定期間」という。）
- (4) 条例第5条第2項の規定による事業計画書その他市長が必要と認める書類の提出（以下「事業計画書等の提出」という。）の方法
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項（事業計画書等の提出）

第3条 事業計画書等の提出は、市長が定める期間内にしなければならない。

2 条例第5条第2項に規定する事業計画書その他市長が必要と認める書類は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定予定期間に属する各年度の美術館の管理に係る事業計画書及び経費見積書
- (2) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書（法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類）
- (3) 事業計画書等の提出をする日（以下「提出日」という。）の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表及び損益計算書若しくは活動計算書又は収支計算書。ただし、提出日の属する事業年度に設立された法人等にあつては、その設立時における財産目録とする。
- (4) 提出日の属する事業年度及び翌事業年度における法人等の事業計画書及び活動予算書又は収支予算書
- (5) 役員の名簿及び履歴書
- (6) 組織及び運営に関する事項を記載した書類
- (7) 現に行っている業務の概要を記載した書類
- (8) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類（指定管理予定者）

第4条 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が2以上あるときは、条例第5条第1項各号に掲げる要件（以下「指定要件」という。）を満たし、かつ、次に掲げる業務を行う上で最も適切と認めるものを指定管理者の予定者（以下「指定管理予定者」という。）とする。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (2) 美術館の広報活動に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

2 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が1である場合において、指定要件を満たすときは、当該法人等を指定管理予定者とする。

3 市長は、前条第1項に規定する市長が定める期間内に事業計画書等の提出をした法人等がないとき、又は前2項の指定管理予定者がいないときは、再度、第2条の規定による公告を行う。

(通知)

第5条 市長は、条例第5条第1項の指定をしたときは、指定された法人等に対し、指定管理者指定書（第1号様式）により通知する。

(協定)

第6条 指定管理者は、市長と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 管理に要する費用に関する事項
- (3) 管理を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (4) 管理の業務の報告に関する事項
- (5) 指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (6) 川崎市契約条例（昭和39年川崎市条例第14号）に規定する作業報酬に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項
(事務の委任)

第7条 次に掲げる事務は、川崎市岡本太郎美術館長（以下「館長」という。）に委任する。

- (1) 条例第10条に規定する特別利用（以下「特別利用」という。）の許可、許可の取消し等に関すること。
- (2) 条例第12条に規定する観覧料等（以下「観覧料等」という。）の減額又は免除に関すること。
- (3) 条例第13条の規定による観覧料等の還付に関すること。
(観覧券等の交付)

第8条 館長は、条例第9条の規定による観覧料の納付と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。
(特別入場券)

第9条 市長は、条例別表第1の3の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
- (2) 共通入館券
- (3) 優待券
- (4) 前売券

2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、そ

の都度市長が定める。

(特別利用の申請等)

第10条 条例第10条第1項の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用許可申請書（第2号様式）をあらかじめ館長に提出しなければならない。

2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書（第3号様式）を交付するものとする。

3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

- (1) 条例第3条第1号に規定する美術作品等（以下「美術作品等」という。）の模写、模造、撮影若しくは原板使用によって得たもの（以下「模写資料等」という。）を展示し、又は出版物等に掲載するときは、美術館の所蔵に係るものであることを、適切な方法で表示すること。
- (2) 無断で模写資料等の複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
- (3) 美術作品等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。
- (4) その他館長が必要と認める事項
(特別利用の不許可)

第11条 館長は、次に掲げる美術作品等については、特別利用を許可しない。

- (1) 特別利用によって美術作品等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
- (2) 寄託された美術作品等で寄託者の同意を得ていないもの
- (3) 著作権が存する美術作品等で著作権者等の同意を得ていないもの
- (4) その他館長が特別利用することを不適当と認めるもの

2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

(観覧料等の減免)

第12条 条例第12条の規定により館長が観覧料等を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 観覧料

ア 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額

イ 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧

を行う場合 全額

ウ 川崎市の発行する福寿手帳の交付を受けている者が
常設展の観覧を行う場合 全額

エ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15
条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別
援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項又は第
2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対
する援護に関する法律（平成6年法律第117号）第2
条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知
的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知
的障害者更生相談所において知的障害と判定された者
に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その
他の事項の記載があるものをいう。）、精神保健及び精
神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）
第45条第2項の規定による精神障害者保健福祉手帳等
（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けて
いる者（これらの者の介護者を含む。）が観覧を行う場
合 全額

オ その他館長が特に必要があると認める場合 その都
度館長が定める額

（2） 特別利用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用
途に供することを目的とする場合 全額

イ 私立の博物館、図書館、学校、研究所等がその事業
の用途に供することを目的とする場合 全額

ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合
全額

エ その他館長が特別の理由があると認める場合 その
都度館長が定める額

2 前項第1号の規定による観覧料の減額又は免除を受
けようとする場合にあっては観覧料減免申請書（第4
号様式）を、前項第2号の規定による特別利用料の減
額又は免除を受けようとする場合にあっては特別利用
料減免申請書（第5号様式）を、あらかじめ館長に提
出しなければならない。ただし、前項第1号ウの場合
にあっては川崎市の発行する福寿手帳の、同号エの場
合にあっては身体障害者手帳等の提示をもって、当該
申請書の提出に代えることができる。

（観覧料等の還付）

第13条 条例第13条ただし書の規定により観覧料等を
還付することができる場合及びその額は、次のとおり
とする。

（1） 災害その他の事故により観覧又は特別利用ができ
ない場合 全額

（2） 管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、
又は特別利用の許可を取り消す場合 全額

（3） 前2号に定めるもののほか、館長が特別の理由が
あると認める場合 その都度館長が定める額
（遵守事項）

第14条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守
しなければならない。

（1） 建物、附属設備又は美術作品等を汚損し、若しく
は損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこ
と。

（2） 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為を
しないこと。

（3） 展示会場において許可を受けないで、撮影、模写
等を行わないこと。

（4） 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。

（5） 前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項
（委任）

第15条 この規則の施行について必要な事項は、市民文
化局長が定める。

附 則

（施行期日）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 川崎市岡本太郎美術館協議会規則（平成11年川崎市
教育委員会規則第7号）の規定により委嘱され、又は
任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する
委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規
定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

附 則（平成25年3月29日規則第26号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 改正前の規則の規定により調製した帳票で現に残存
するものについては、当分の間、必要な箇所を訂正し
た上、引き続きこれを使用することができる。

附 則（平成27年5月27日規則第49号）

この規則は、平成27年6月1日から施行する。

規 則（平成28年3月31日規則第25号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

第1号様式

第2号様式

第3号様式

第4号様式

第5号様式

令和 6 年度

川崎市岡本太郎美術館年報

2025 年 10 月発行

編集・発行／川崎市岡本太郎美術館

川崎市多摩区枳形 7-1-5 生田緑地内

TEL 044-900-9898



**Taro Okamoto
Museum of Art,
Kawasaki**